

投資家向け説明会

2025年3月期 第2四半期

ソフトバンク株式会社

2024年11月8日

（免責事項）

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している一定の前提に基づいており、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

（本資料上記載されている数値の定義について）

本資料上記載されている数値の定義についてはデータシートをご参照ください。

- 全セグメントが増収増益。通期予想の達成に向け順調に推移
- 2024年度通期予想を上方修正
- モバイル売上は堅調、前年同期比で増収を継続
- PayPay連結が2四半期連続で営業黒字

増収増益。通期予想に対する進捗はいずれも順調

(億円)	FY23 上期	FY24 上期	増減	増減率	進捗率 (期初予想)
売上高	29,338	31,521	+2,183	+7.4%	50.8%
調整後 EBITDA*1	8,907	9,364	+458	+5.1%	55.7%
営業利益	5,144	5,859	+715	+13.9%	65.1%
純利益*2	3,021	3,239	+217	+7.2%	64.8%

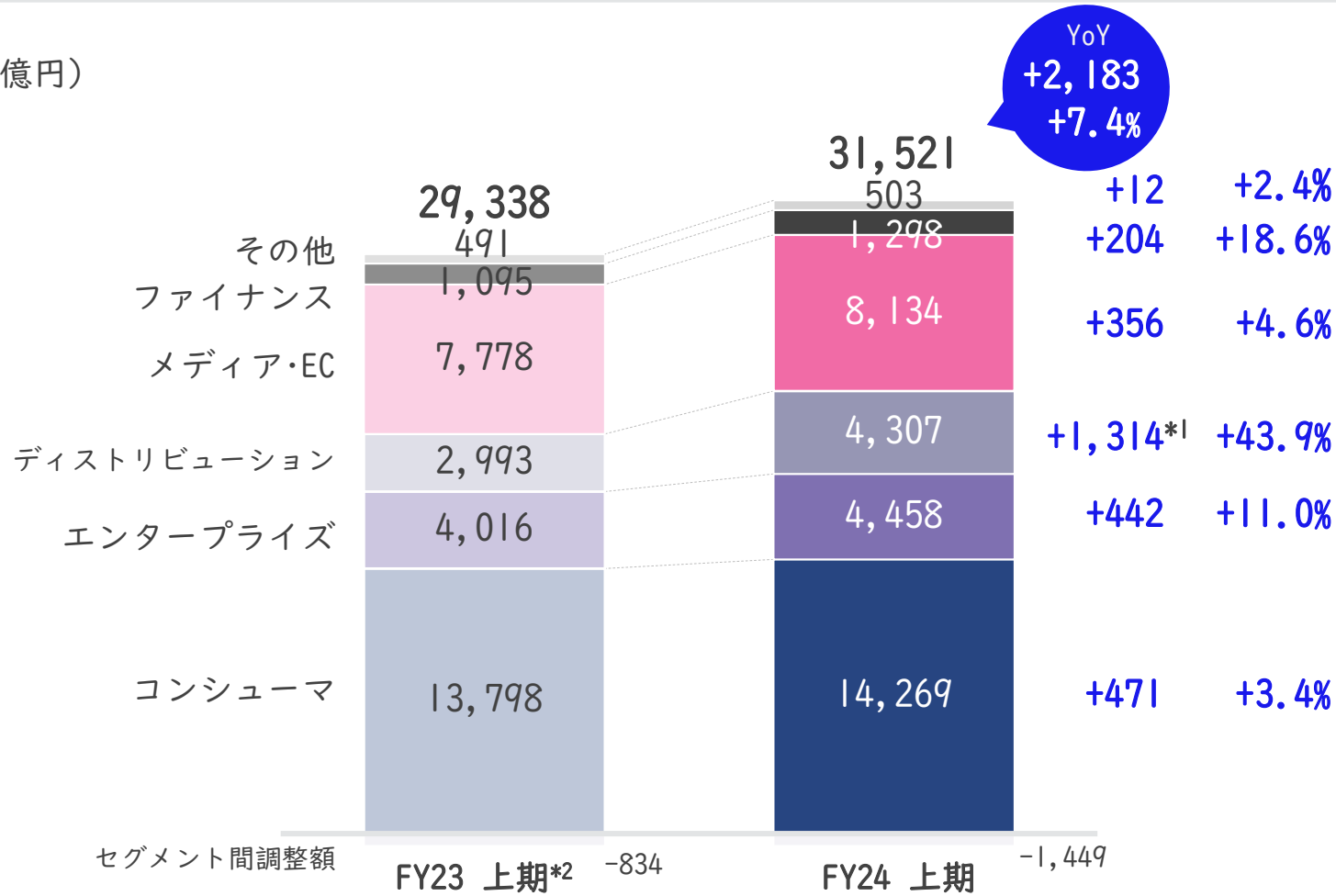
- 営業利益、純利益ともに進捗率は約65%
- 売上高は上期として過去最高
- 営業利益は前年同期比13.9%増

*1：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費及び償却費(固定資産除却損含む) + 株式報酬費用 ± その他の調整項目 (以下本編内において同様)

*2：純利益は、親会社の所有者に帰属する純利益 (以下本編内において同様)

全セグメントで増収

(億円)



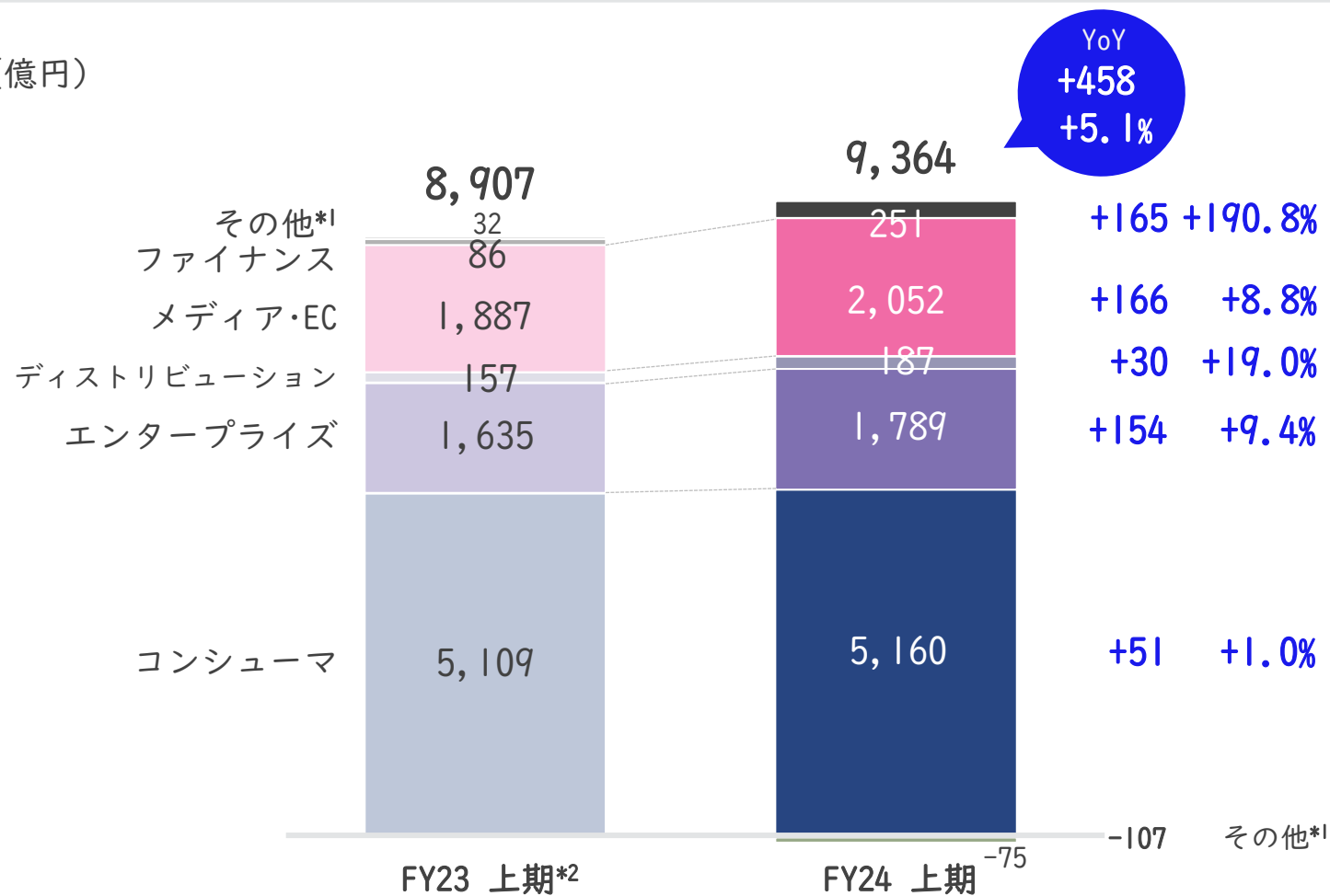
- 通期予想62,000億円に対する進捗率は50.8%
- ディストリビューション、エンタープライズ、ファイナンスは2桁増収

*1: SB C&S(株)が、NVIDIAから仕入れたAI計算基盤をソフトバンク(株)へ売却したことによる売上高の増加分366億円を含む

*2: FY23 上期数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP37参照

全セグメントで増益

(億円)



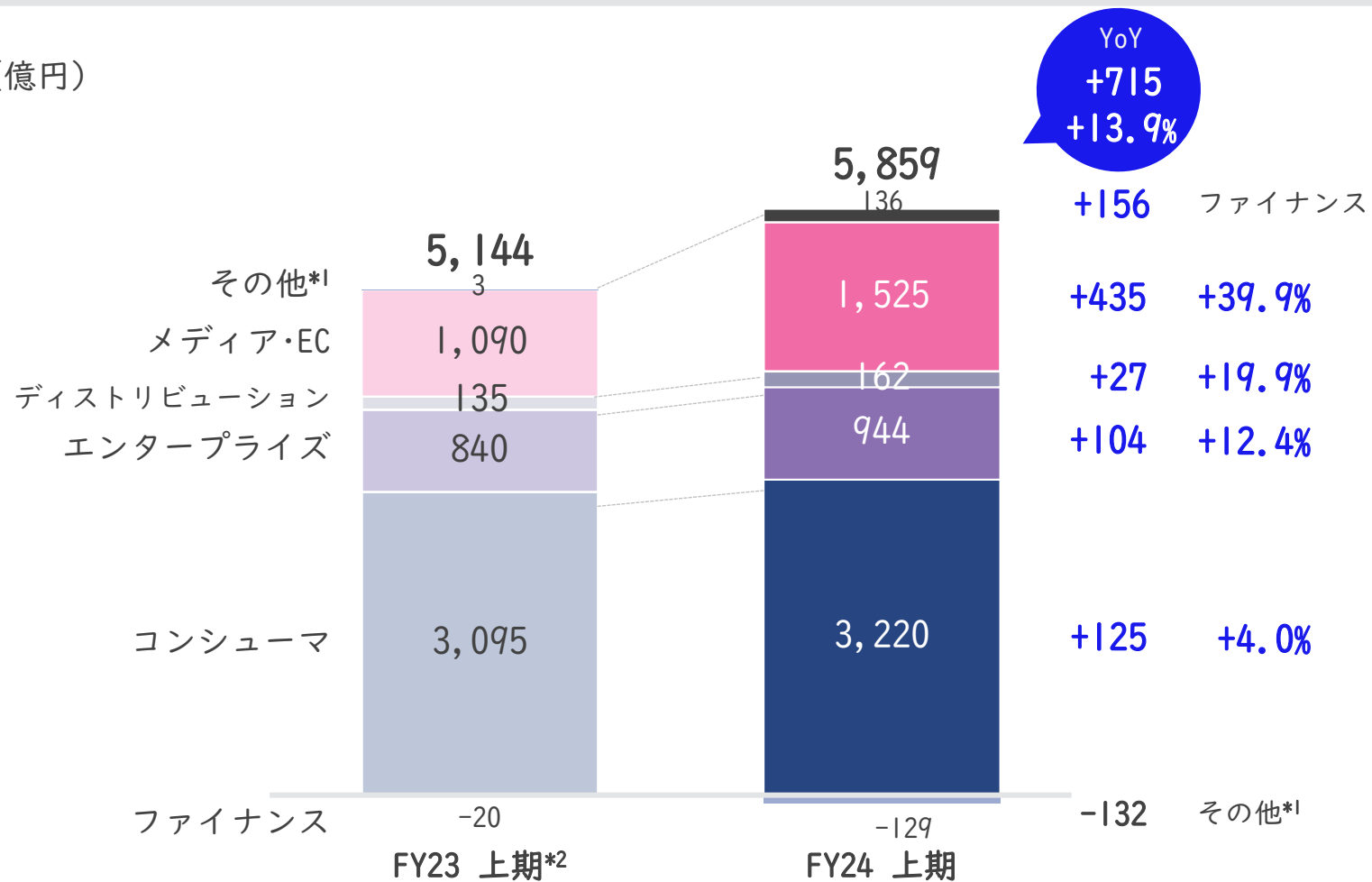
- 通期予想16,800億円に対する進捗率は55.7%
- メディア・EC、ファイナンス、エンタープライズが100億以上の増益貢献

*1: その他はセグメント間調整額を含む (FY23 上期:8億円、FY24 上期:-39億円)

*2: FY23 上期数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP37参照

全セグメントで増益

(億円)



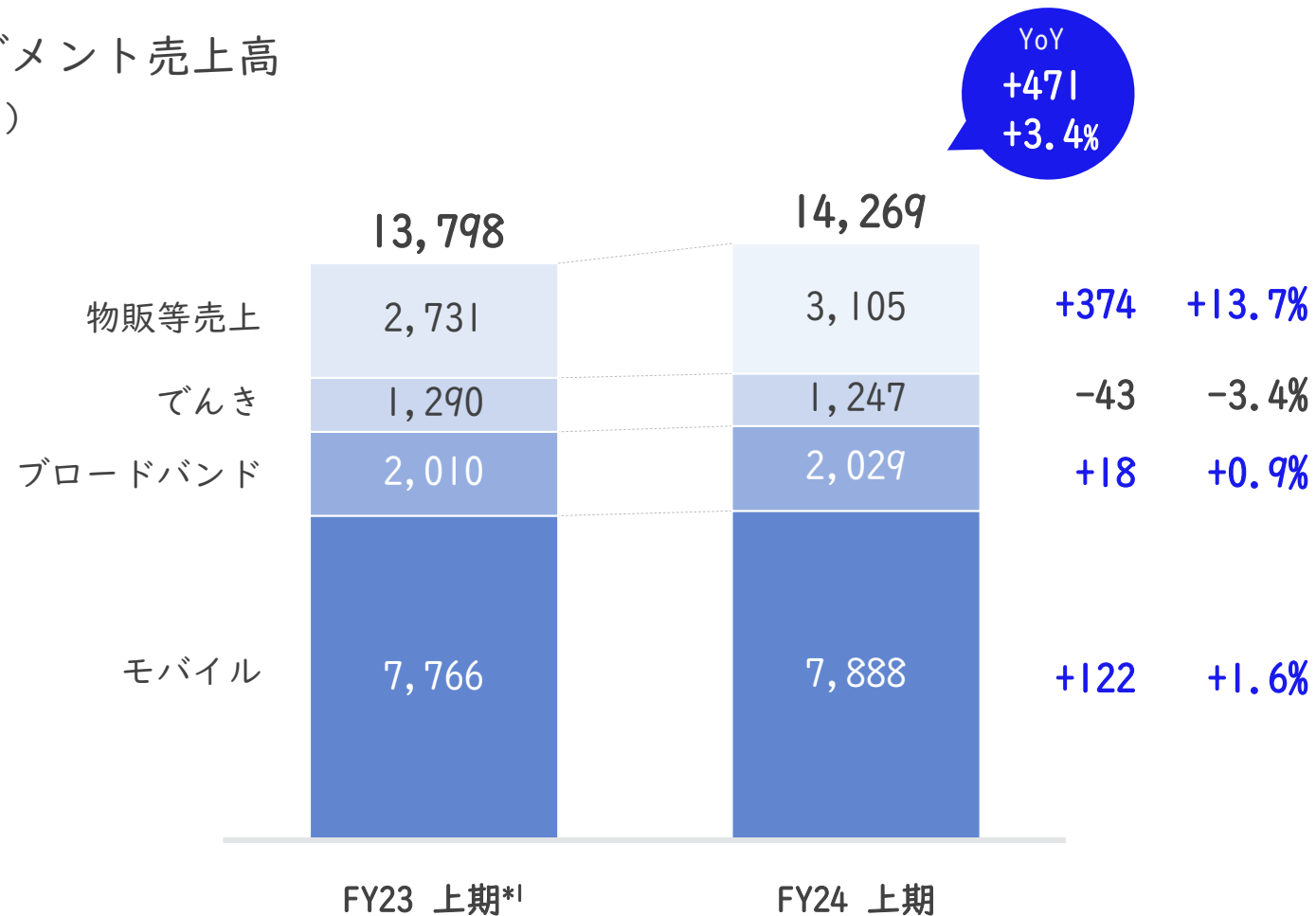
- 通期予想9,000億円に対する進捗率は65.1%
- メディア・ECの増益幅には一過性要因286億円含む(P12参照)

セグメント別通期予想 (億円)	FY23実績*2	FY24 期初予想	増減率	対通期予想 上期進捗率
消費者	4,952	5,300	+7.0%	60.8%
エンター プライズ	1,668	1,700	+1.9%	55.6%
ディストリ ビューション	262	280	+6.7%	57.9%
メディア・EC	1,980	2,300	+16.2%	66.3%
ファイナンス	-50	30	-	453.3%
その他	-52	-610	-	-
全社計	8,761	9,000	+2.7%	65.1%

*1: その他はセグメント間調整額を含む (FY23 上期:27億円、FY24 上期:-25億円) *2: FY23 上期数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP37参照

モバイルは増収を継続、物販等売上も改善

セグメント売上高
(億円)



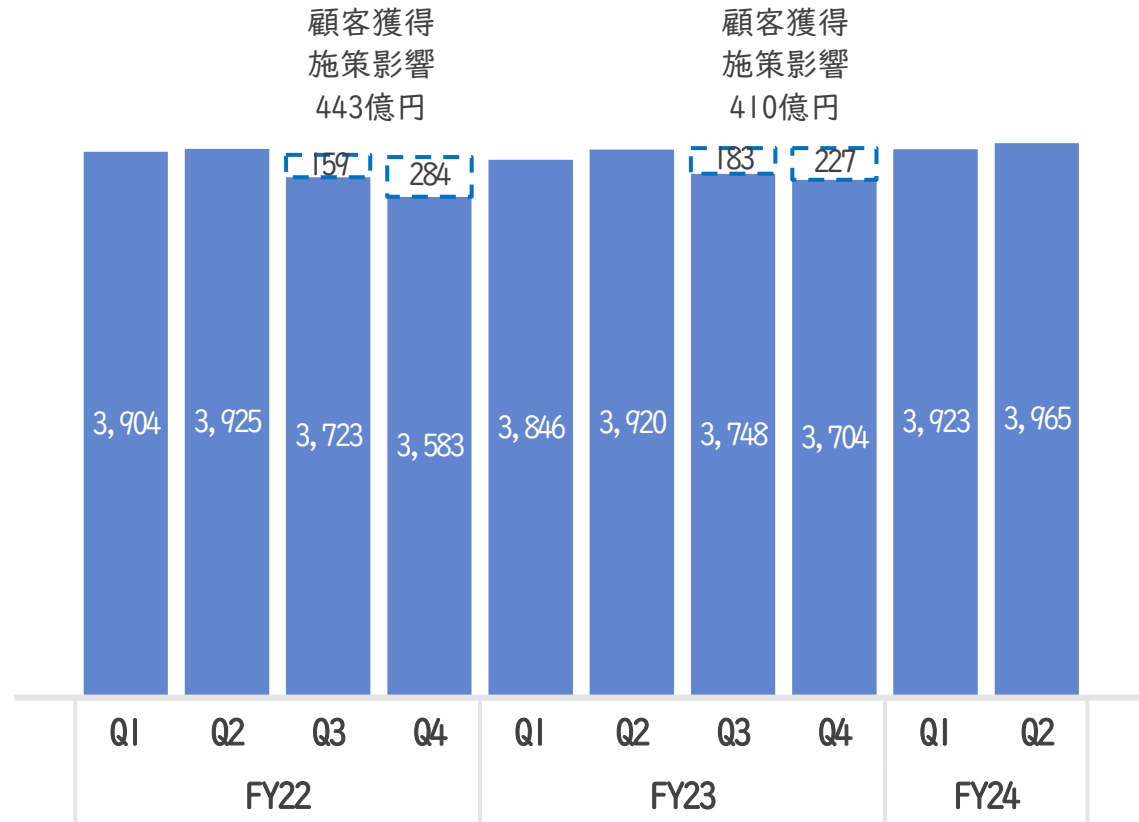
- 物販等売上**
 主に端末販売単価の増加で大幅増収
 (値引の縮小、ハイエンド端末販売増等)
- でんき**
 契約件数の減少により減収
- ブロードバンド**
 契約数の増加により増収
- モバイル**
 主に契約数の増加等により増収
 ARPUの下げ止まりも貢献

*1: FY23 上期数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP37参照

前年同期比で増収が継続

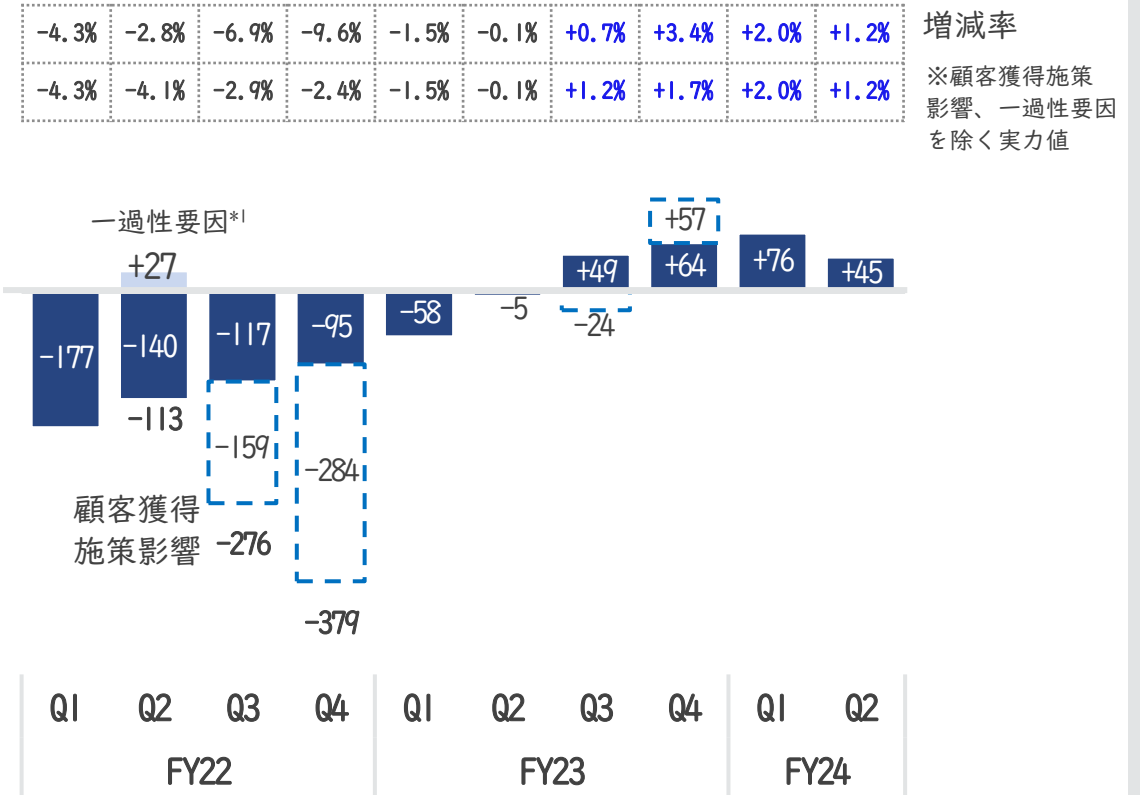
モバイル売上高 四半期推移

(億円)



モバイル売上高 前年同期比

(億円)

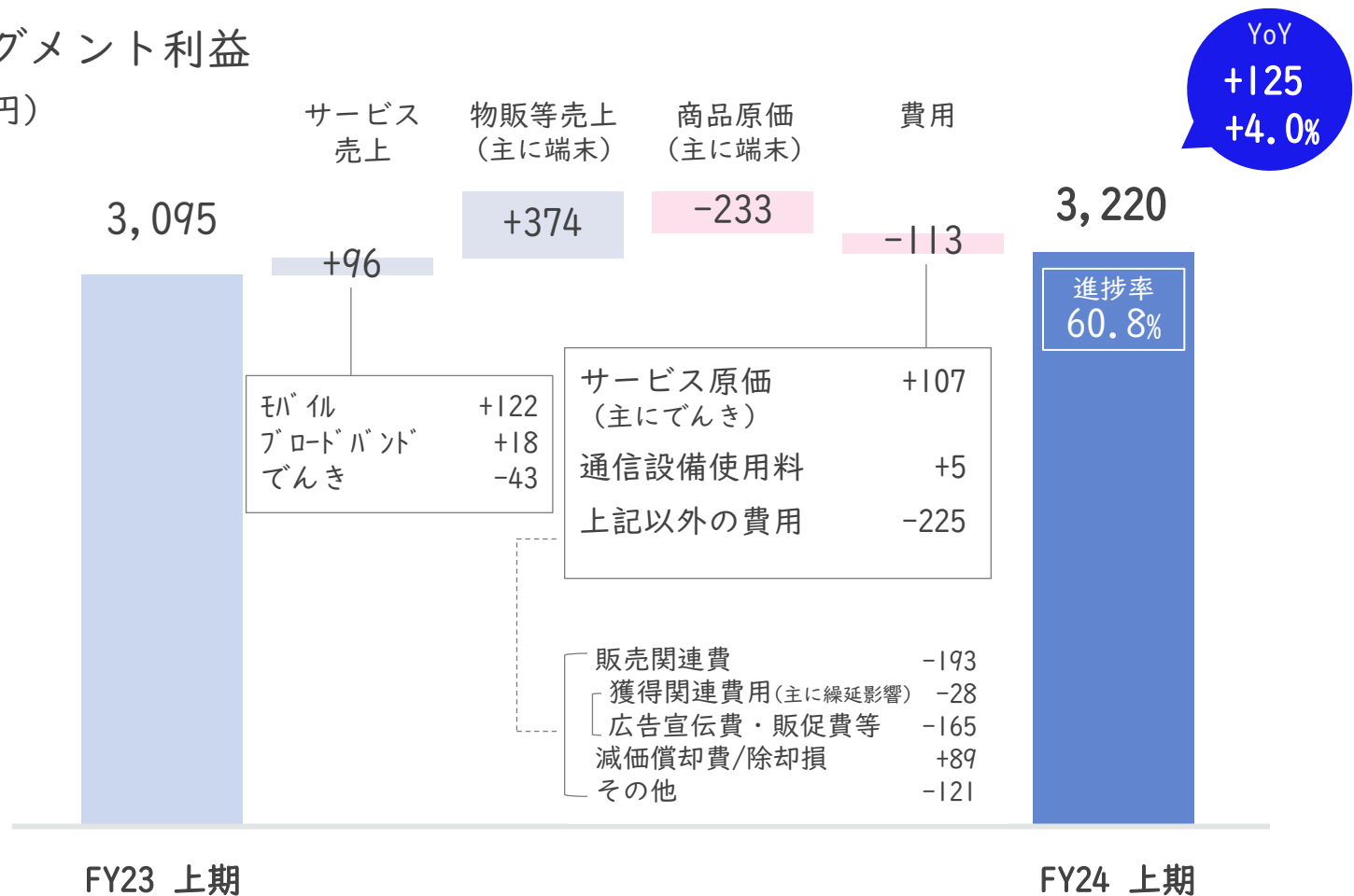


*1: FY21におけるデータくりこしの提供開始および基本料1ヶ月無料の影響

端末粗利の改善やモバイル売上の回復、減価償却費の減少等により増益

セグメント利益

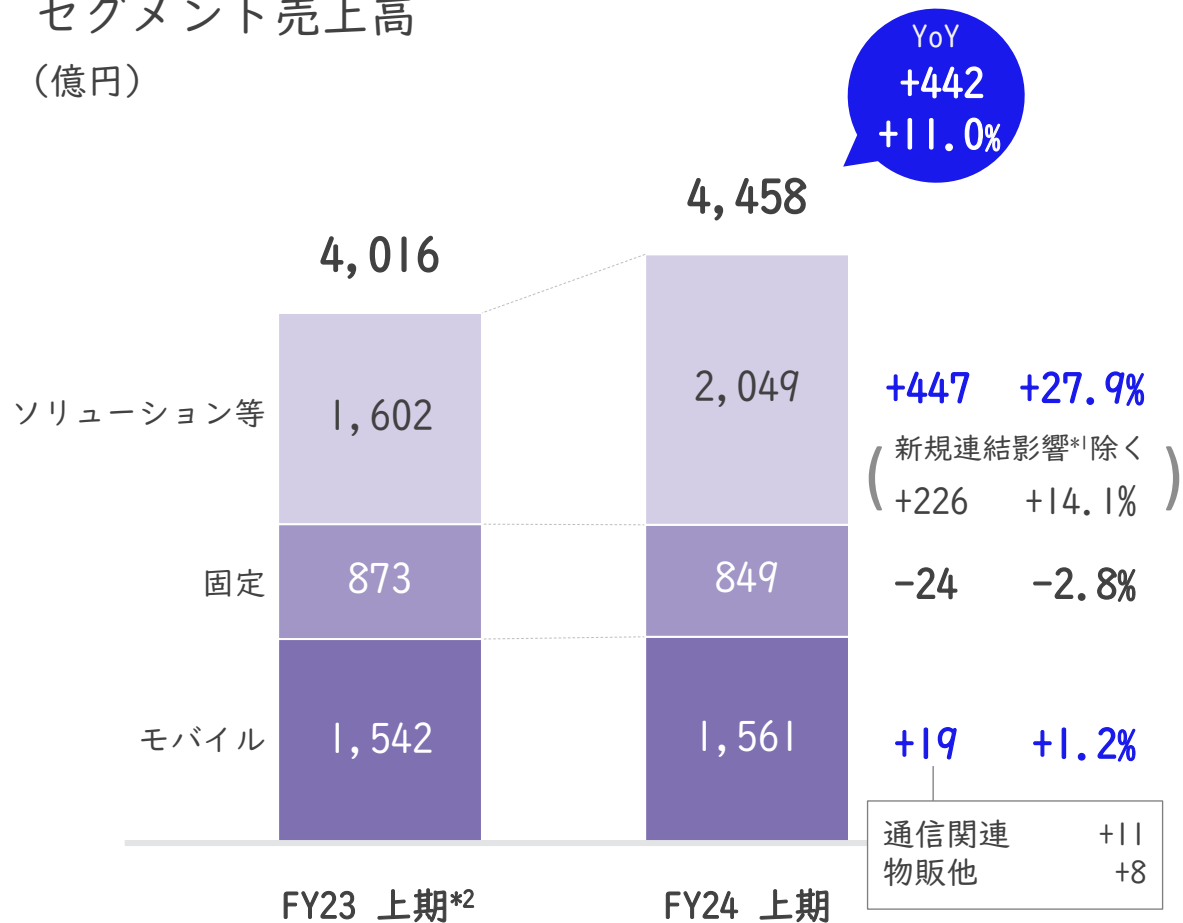
(億円)



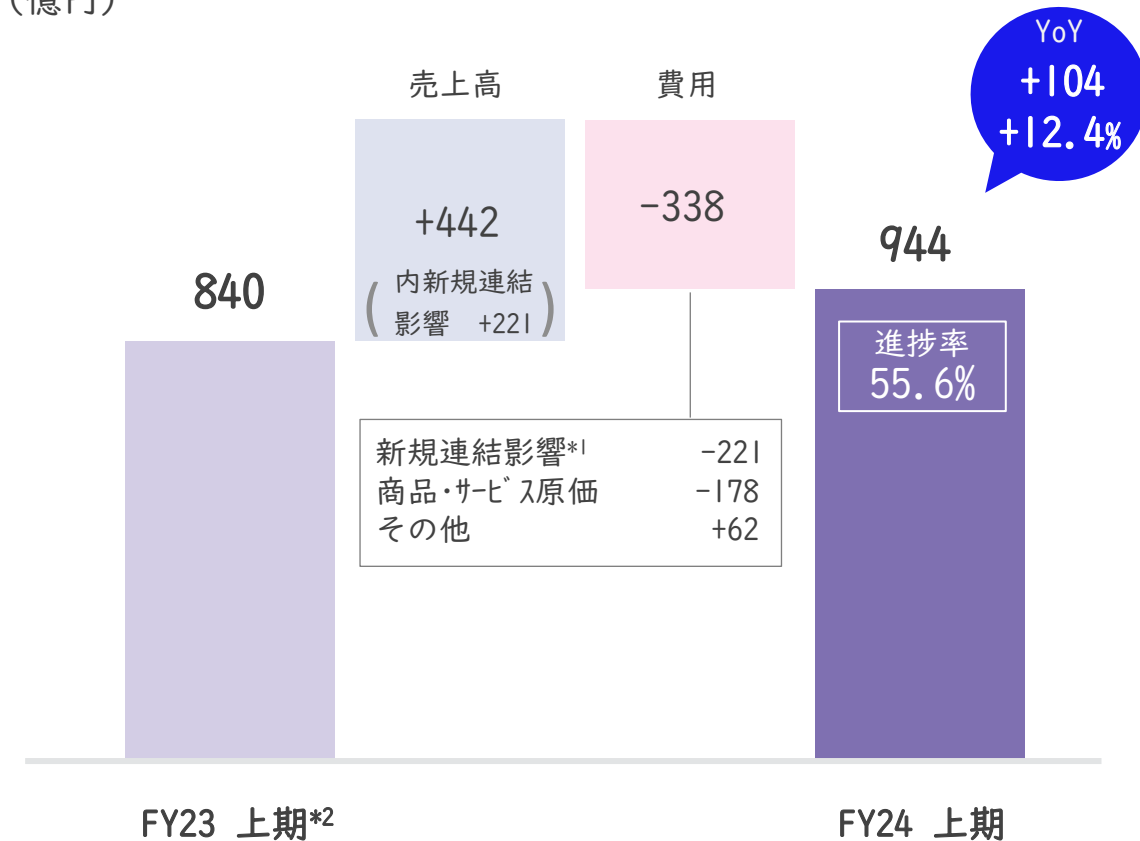
- 通期予想5,300億円に対する進捗率は60.8%
- 物販等売上-商品原価 +141億円
販売促進施策の見直しが貢献
- でんき
売上は減少も調達原価の改善で増益
- 販売関連費
顧客獲得活動の活発化、販促の強化により増加
- その他
SB光工事費、電気代に加え、中期業績連動役員報酬の一過性要因等もあり増加

ソリューション等売上が2桁増収、通期予想達成に向け順調

セグメント売上高
(億円)



セグメント利益
(億円)

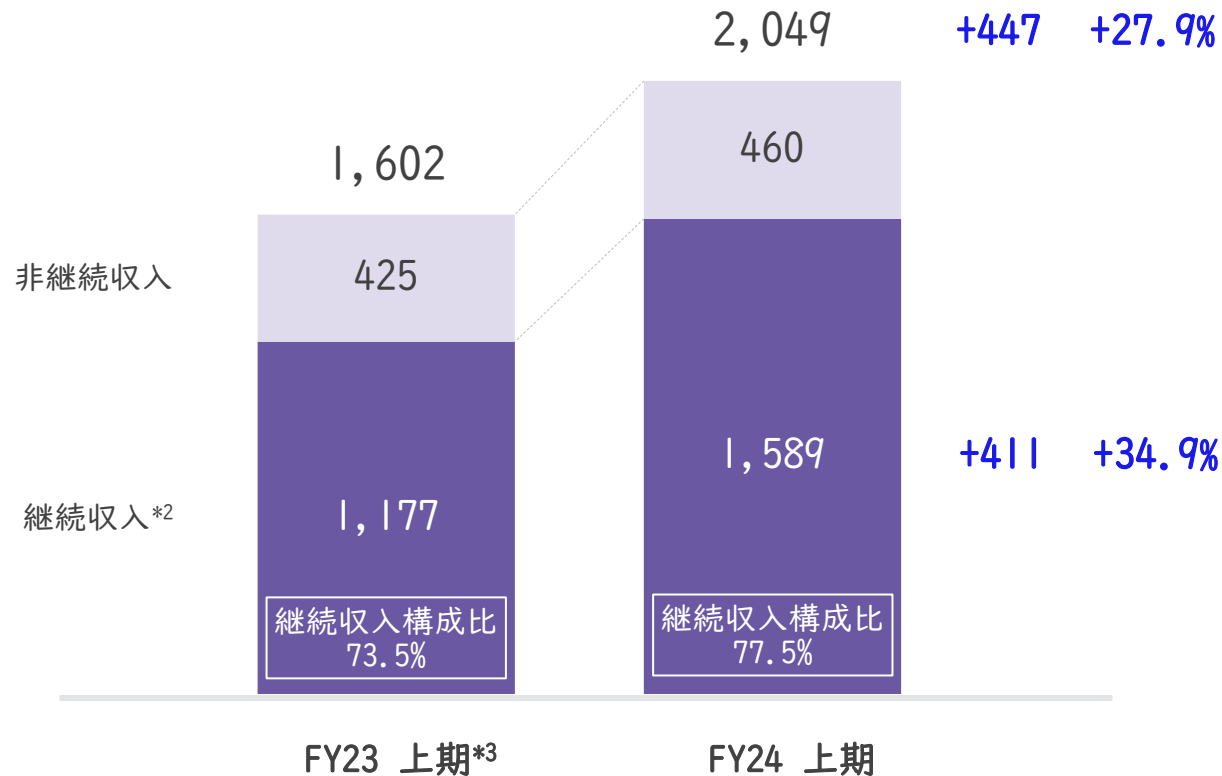


*1: 子会社のWWJ(株)を通じたWeWork Japan合同会社の事業承継およびCubic Telecom Ltd. (以下「Cubic」)の新規連結影響

*2: FY23 上期数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP37参照

継続収入は新規連結子会社*1の貢献もあり大きく成長

(億円)



- ソリューション等売上の7割以上を占める継続収入は前年同期比+34.9%
- WWJおよびCubicは継続収入に分類 (影響額221億円)
- クラウドとIoT等が引き続き好調
- 以下取引につき、FY23を遡及修正

- ①SBテクノロジー等を「その他」から移管
- ②IoT商材等を「モバイル/固定」から移管

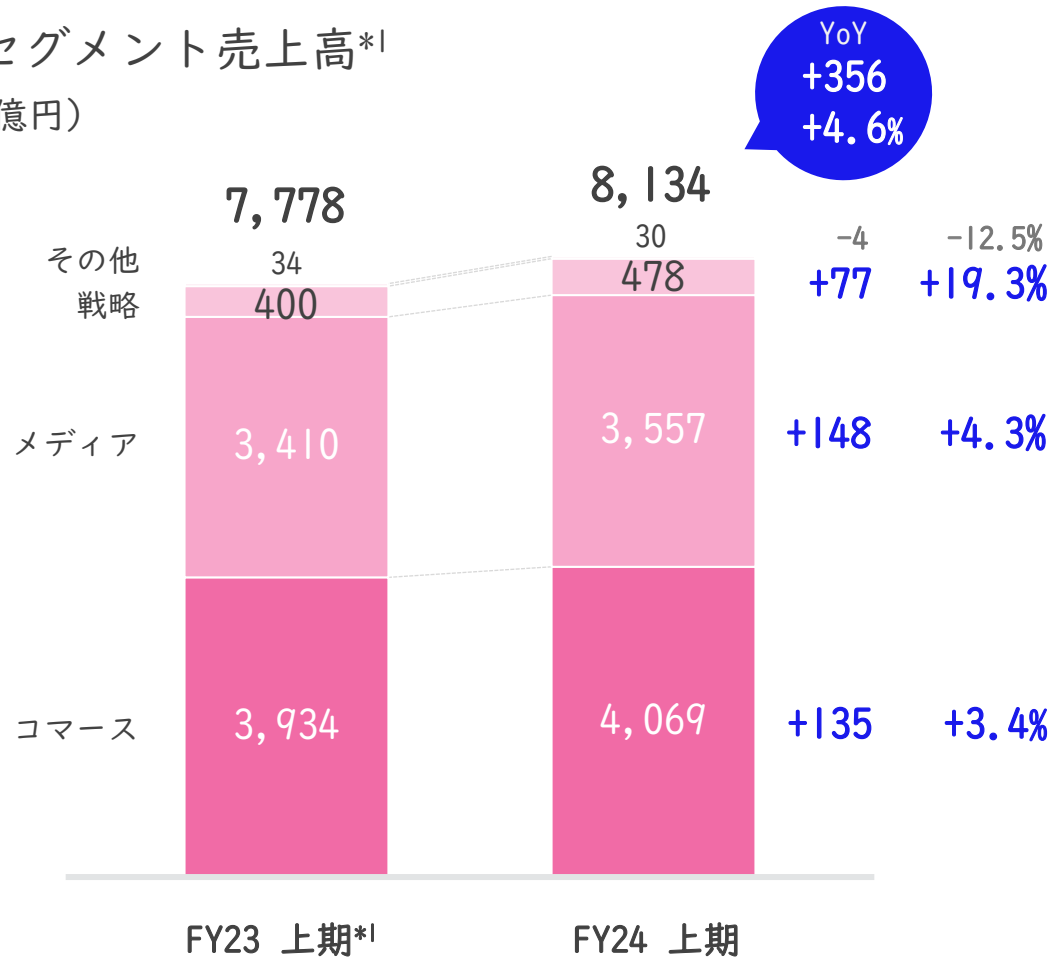
継続収入の遡及影響額 (億円)

	FY23Q1	Q2	Q3	Q4	合計
遡及前	484	501	543	591	2,120
遡及後	579	598	659	697	2,534

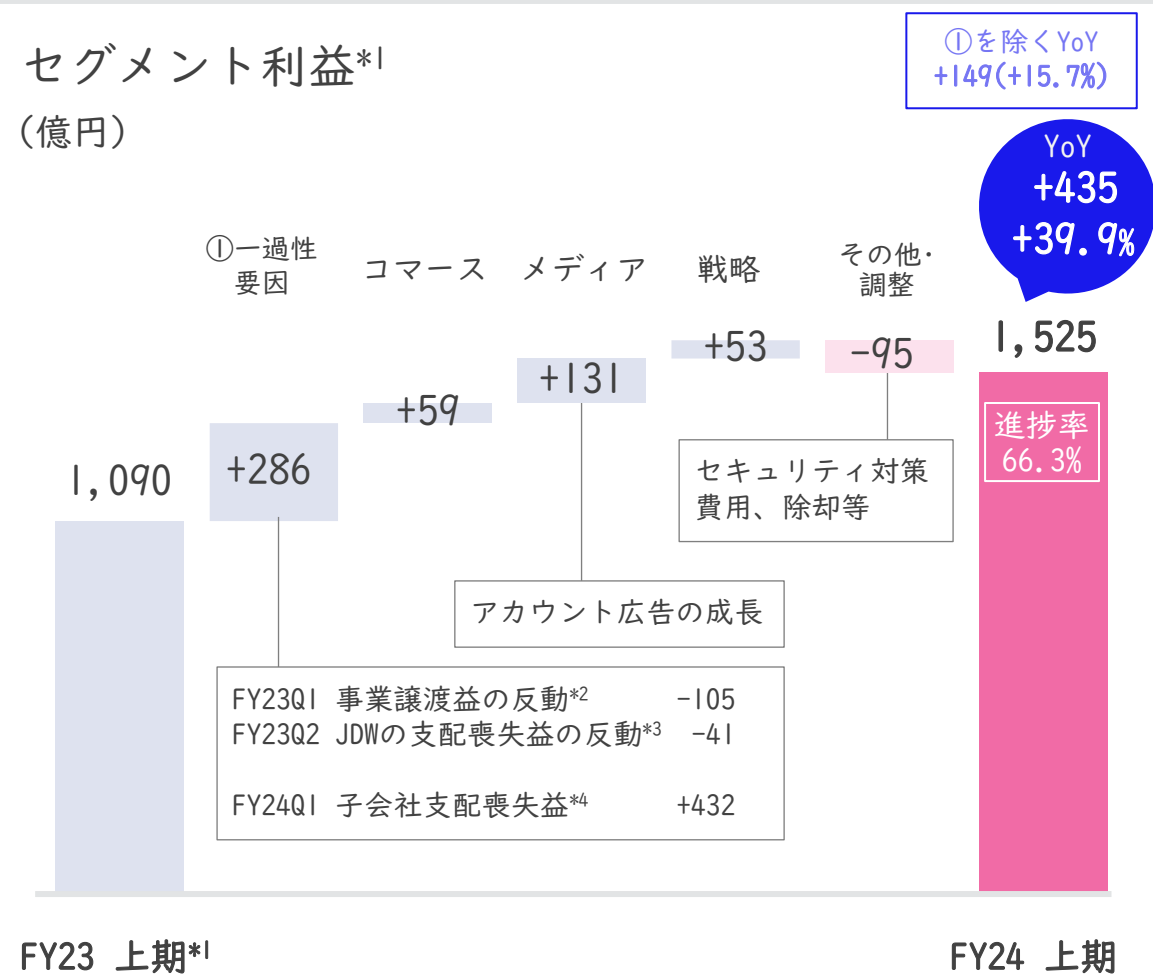
*1：子会社のWWJ(株)を通じたWeWork Japan合同会社の事業承継およびCubicの新規連結影響 *2：クラウド・セキュリティ・IoT等のうち継続的な収入、データセンター・デジタルマーケティング等の収入 *3：FY23 上期数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP37参照

事業は順調に成長。アカウント広告の成長、一過性要因もあり大幅増益

セグメント売上高*1
(億円)



セグメント利益*1
(億円)

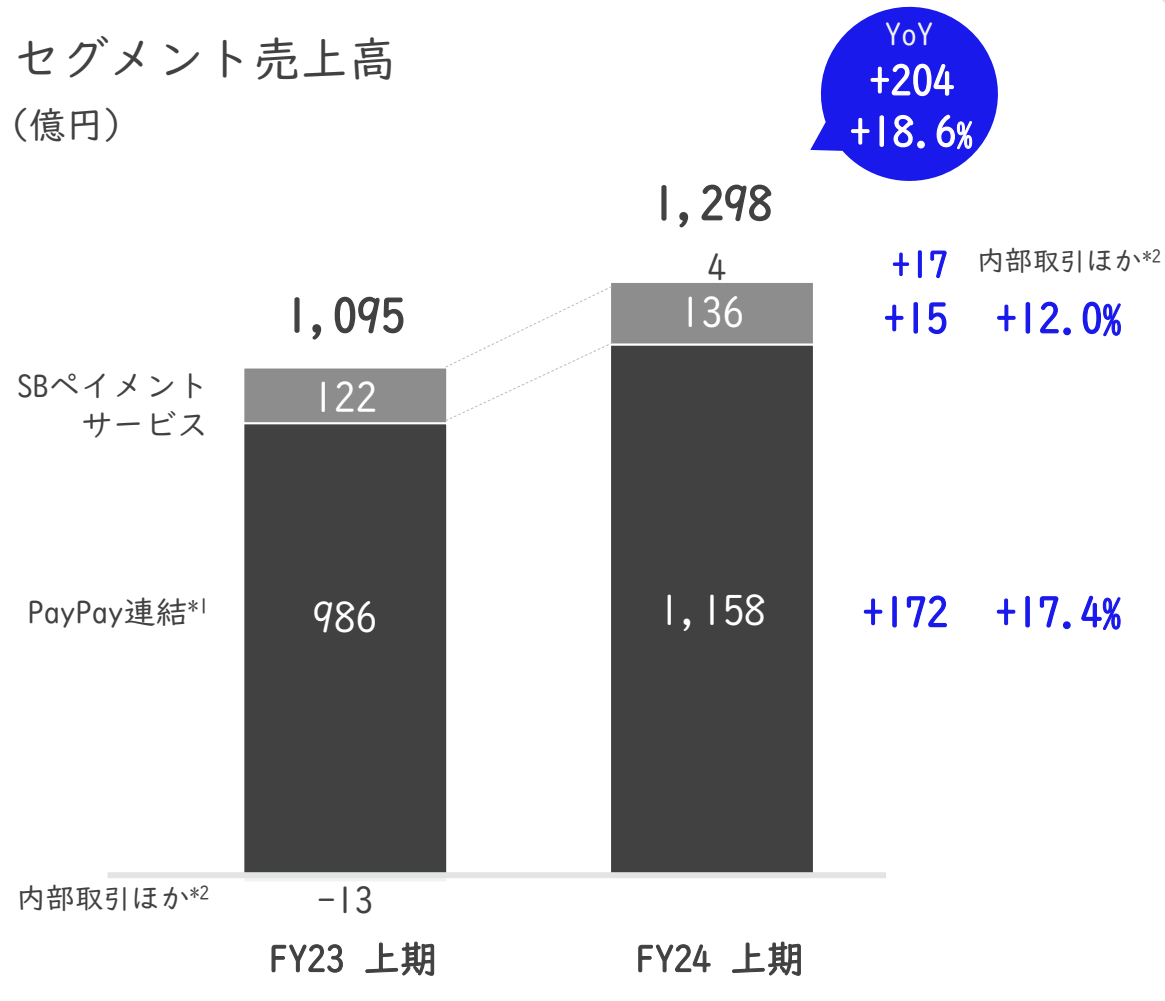


*1: FY23 Q3において、LINEヤフー(株)(旧Zホールディングス(株))(以下「LY」)グループでは、事業の管理区分を見直し、一部のサービス等について区分を移管。これに伴い、メディア・EC事業のFY23 上期の売上高の内訳すべてを修正再表示。セグメント利益の増減は遡及後のFY23 上期を基に算定 *2: LINE(株)が営むAIカンパニー事業をLINE WORKS(株)(旧ワークスモバイルジャパン(株))に承継したことに係る事業譲渡益 *3: 台湾にて「LINE TAXI」を手掛ける JDW Co., Ltd に第三者からの出資が実施され、子会社から除外したことにより生じた子会社の支配喪失に伴う利益 *4: 子会社の支配喪失に伴う利益 (IPX Corporation +228、LINE NEXT Corporation +135、バリューコマース(株) +70)

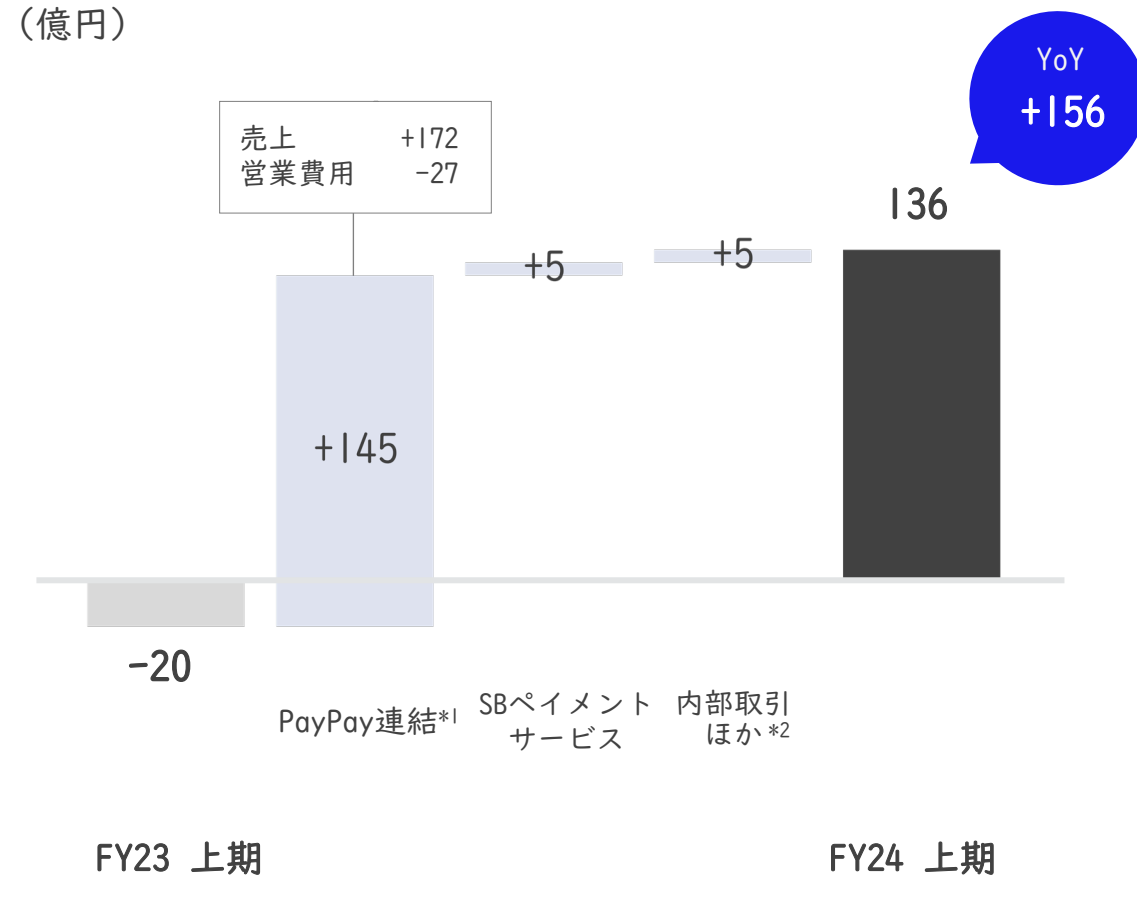
売上が順調に拡大し2四半期連続黒字。PayPay連結の黒字化が大きく貢献

(P30参照)

セグメント売上高
(億円)



セグメント利益
(億円)

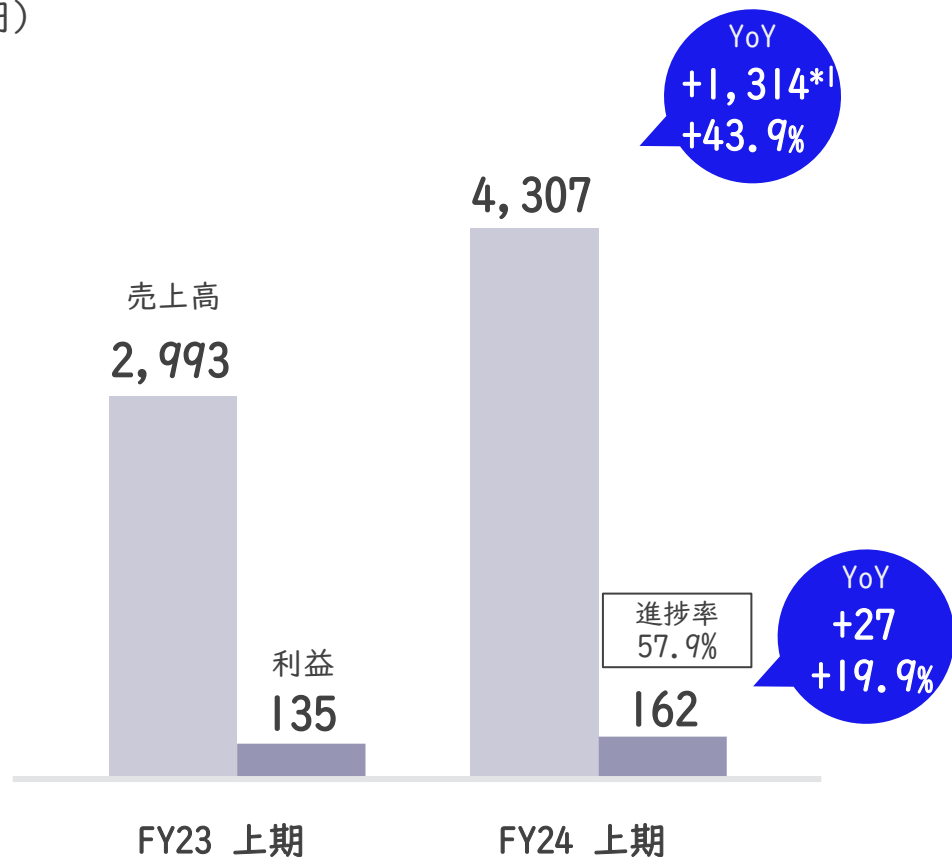


*1: PayPay連結ベース(PayPay(株)、PayPayカード(株)含む、両社間の内部取引控除後)。当社にて関連するIFRS調整を行い独自に算出。非監査

*2: 「内部取引ほか」に、PayPay(株)とPayPayカード(株)間の内部取引以外のファイナンス事業内の会社間の内部取引およびPayPay証券(株)等の単体の数値を含む

ディストリビューションは法人向けICT領域の好調により増収増益

ディストリビューション事業 売上高・利益
(億円)



その他 利益
(億円)

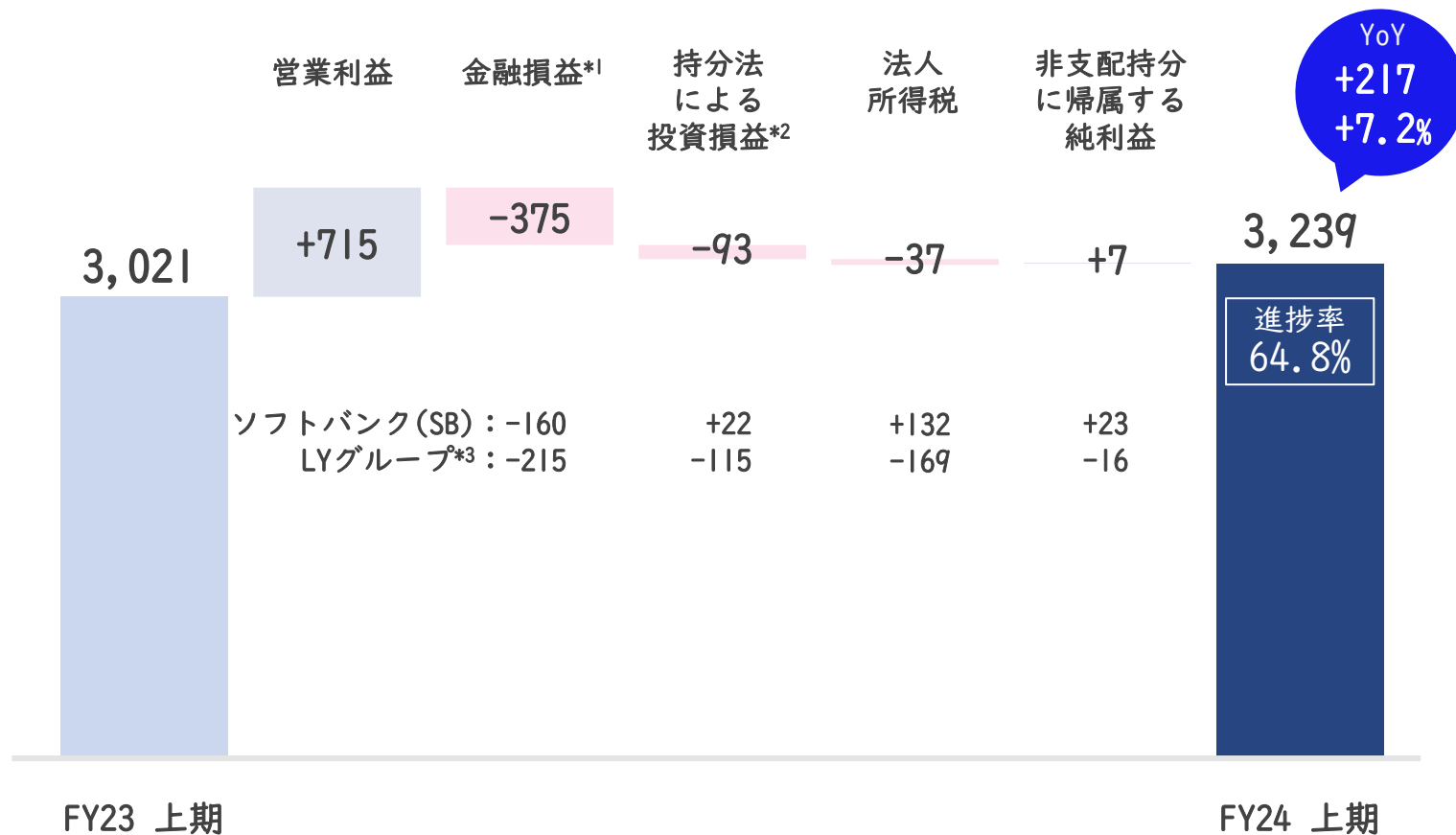
	FY23 上期*2	FY24 上期	増減
子会社	60	29	-30
研究開発/先行投資	-89	-131	-42
その他 (調整含む)	32	-28	-59
合計	3	-129	-132

*1: SB C&S(株)が、NVIDIAから仕入れたAI計算基盤をソフトバンク(株)へ売却したことによる売上高の増加分366億円を含む

*2: FY23 上期数値は遡及修正後。遡及修正の内容はP37参照

営業利益の増加等により増益、通期予想を上回るペースで進捗

(億円)



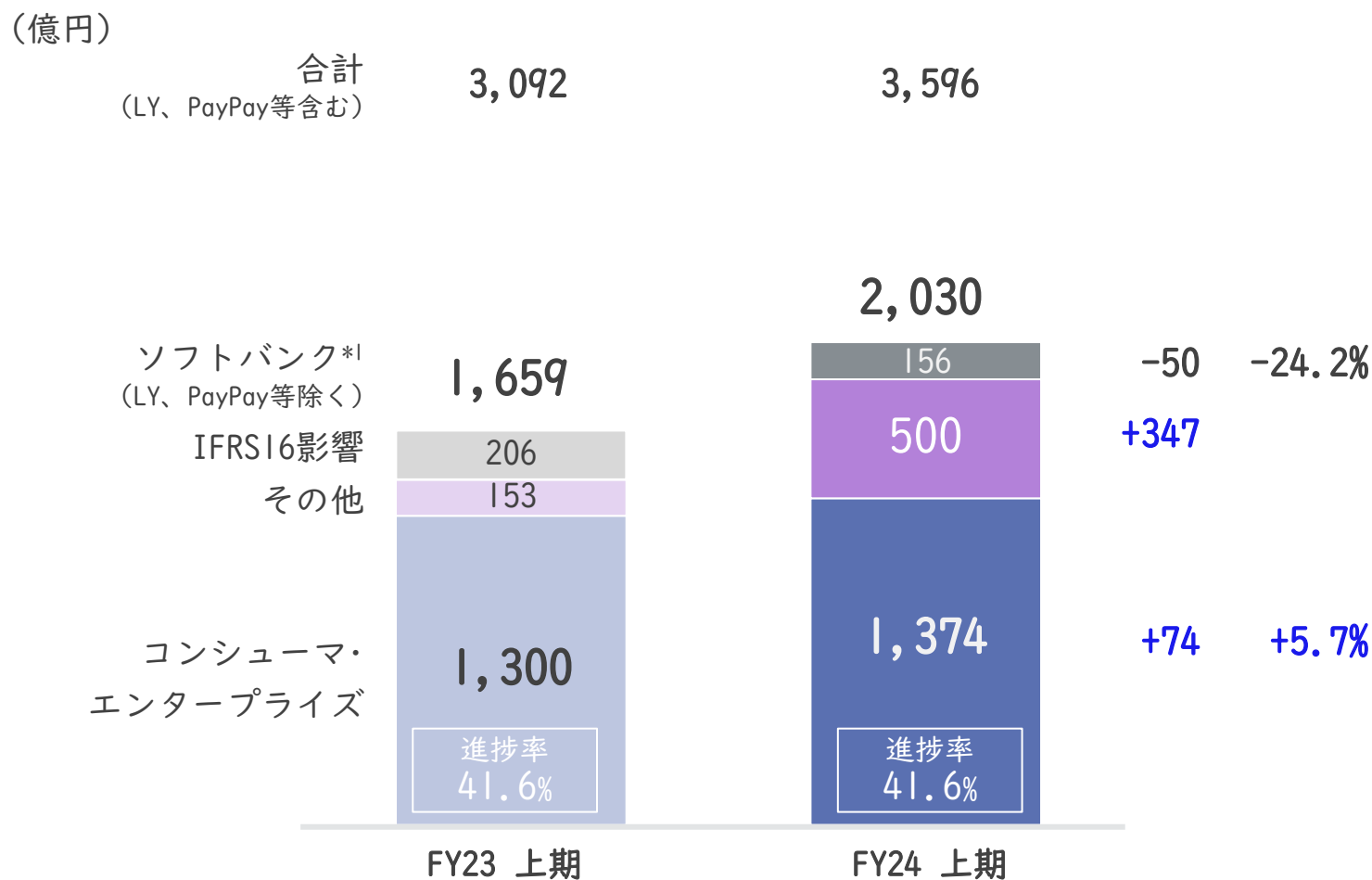
- 通期予想5,000億円に対する進捗率64.8%

- 金融損益*1
SB：今期評価損やWWJ利息等
LY：持分法会社のプットオプション評価損等

- 持分法による投資損益*2
LY：前年のWebtoonに係る持分変動利益の反動

- 法人所得税
SB：組織再編に係る税効果の影響等
LY：前年の組織再編に係る税効果の反動

コンシューマ・エンタープライズは期初計画に沿って進捗

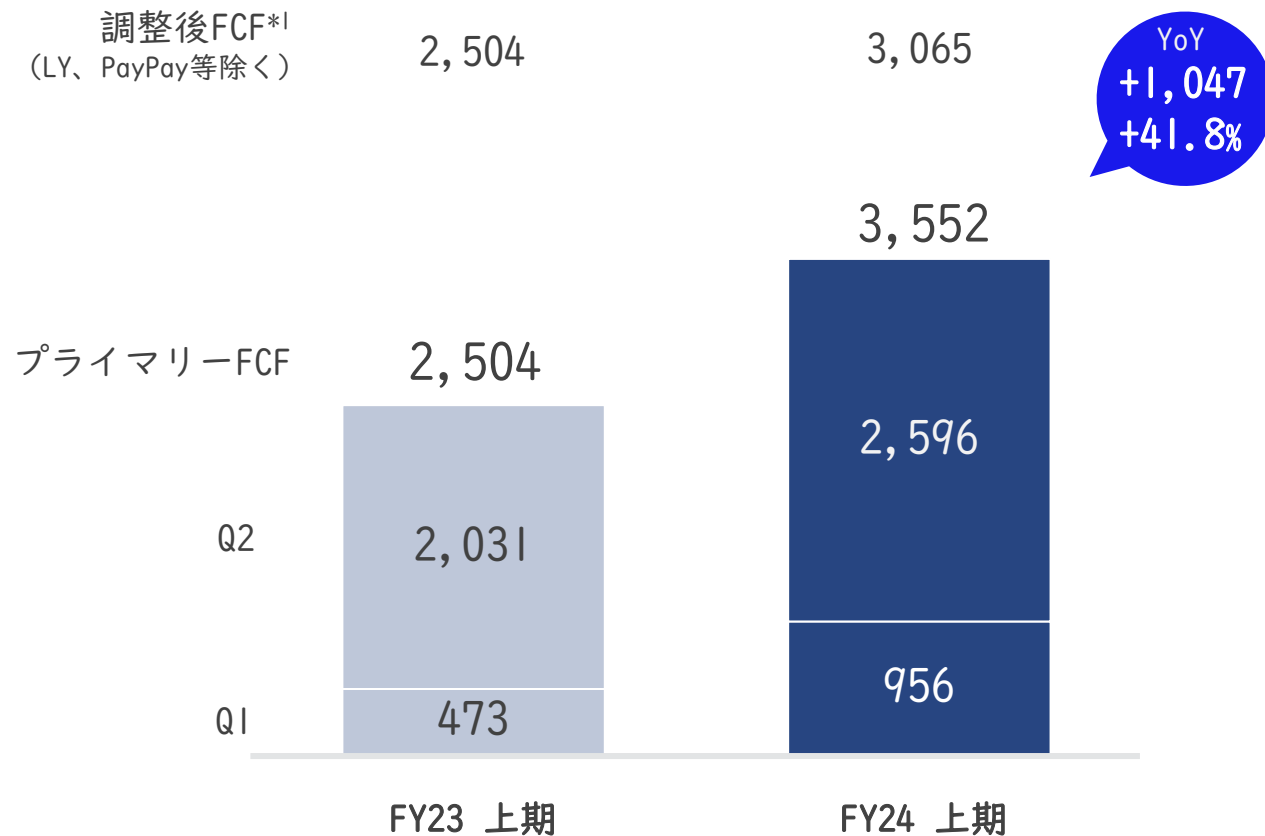


- コンシューマ・エンタープライズの設備投資(IFRS16影響除く)は通期計画3,300億円に対して進捗率41.6%
- その他の設備投資は、AI計算基盤への成長投資により増加(詳細はP18参照)

* 「LY、PayPay等」はAホールディングス(株)、LINEヤフー(株)および子会社(LINEヤフーグループ)、Bホールディングス(株)、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)等を指す(以下同様) *1: 検収ベース。「LY、PayPay等」の設備投資、レンタル端末、他事業者との共用設備(他事業者負担額)を除く

高水準のプライマリーFCF創出に向けて順調に進捗

(億円)

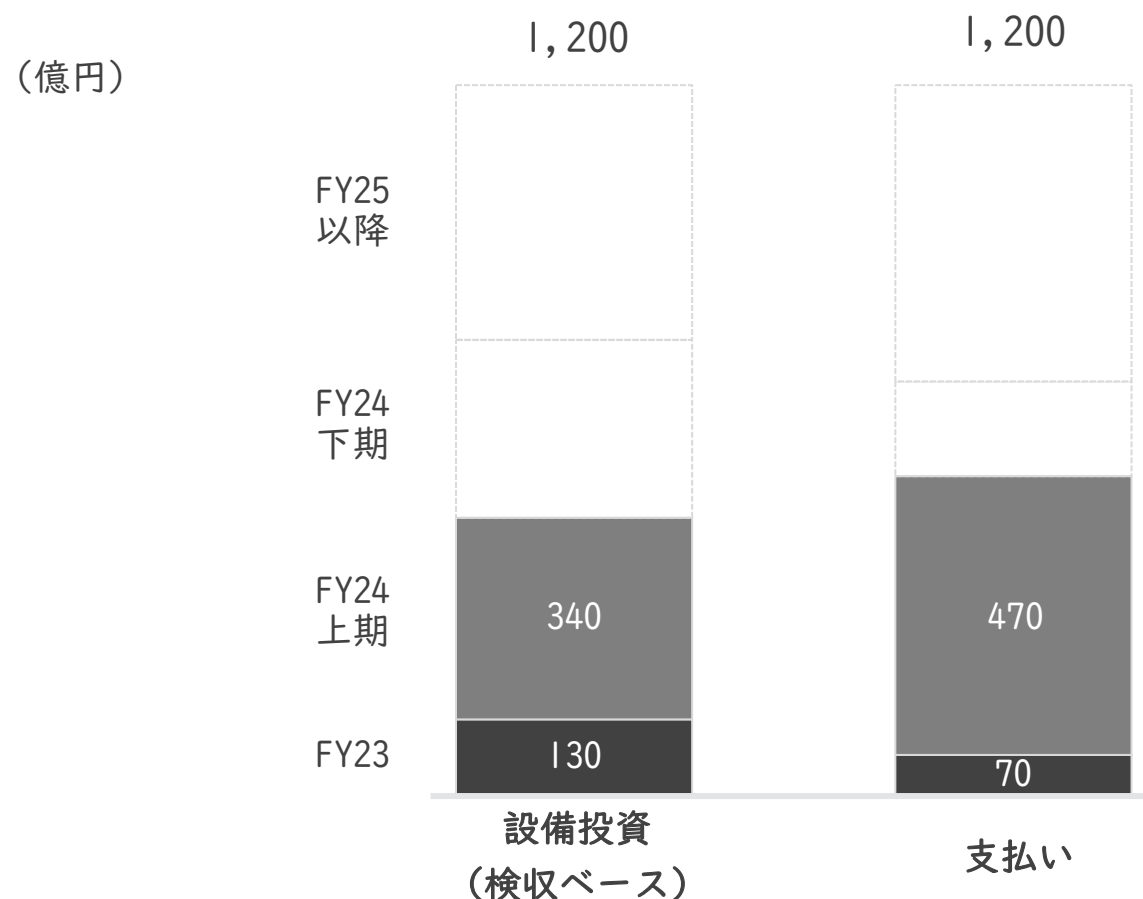


- 営業CF YoY -56億円
ワーキングキャピタルの増加
法人税支出の減少
- 投資CF YoY +1,103億円
設備投資資金の支払が減少
LY自己株取得に伴う受取配当

プライマリーFCF	3,552億円
長期性の成長投資*2	-487億円
調整後FCF*1 (LY、PayPay等除く)	3,065億円

*1: 「LY、PayPay等」のFCFを除き、AHDからの受取配当(FY24Q2に同社が実施したLY株式の売却に伴う、当社への当該手取金の配当等)、PayPay証券(株)への出資等を含む
*2: AI計算基盤への投資を含む

AI計算基盤関連投資(公表済)には、第1回社債型種類株式(1,200億円)を充当



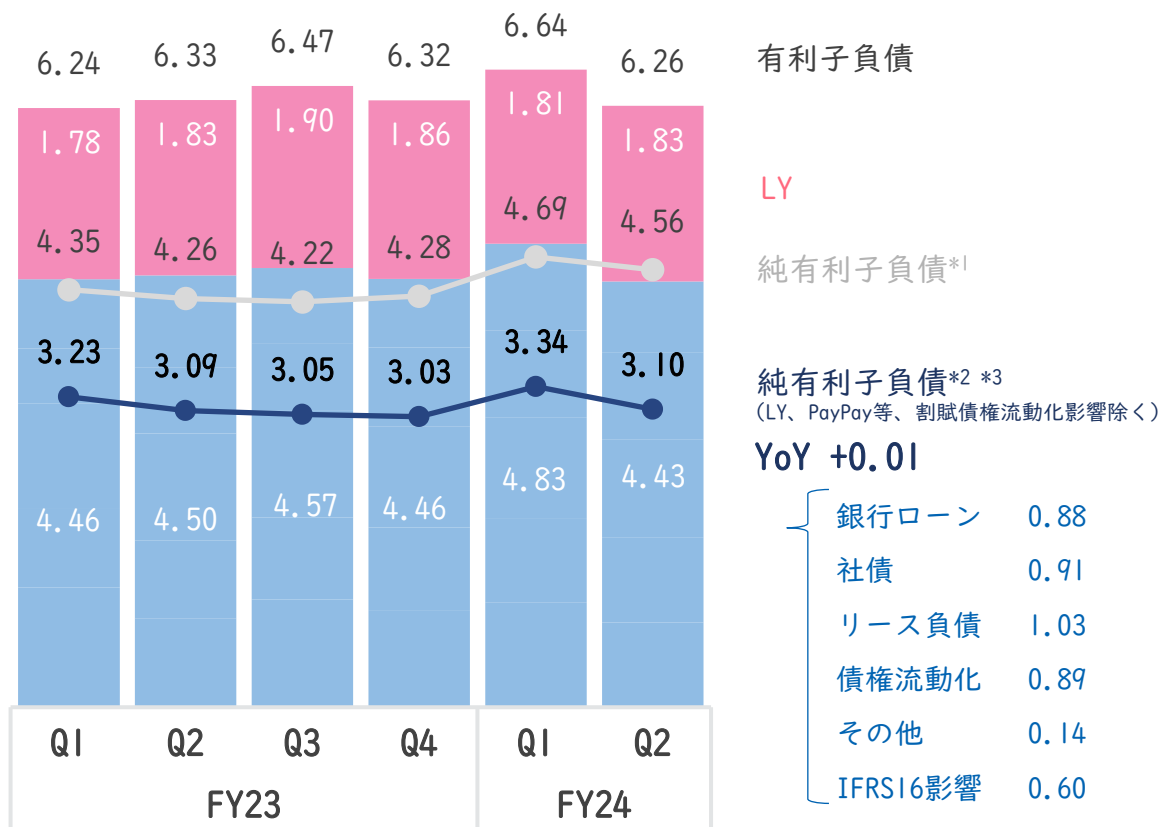
- 現時点までに公表済みのAI計算基盤関連投資額を記載
- クラウドプログラムからの補助金とネット後の数値を記載
- 第2回社債型種類株式は、今後の生成AIや次世代社会インフラ関連の投資に充当予定

参考：社債型種類株式発行状況
 第1回(2023年11月) 1,200億円
 第2回(2024年10月) 2,000億円

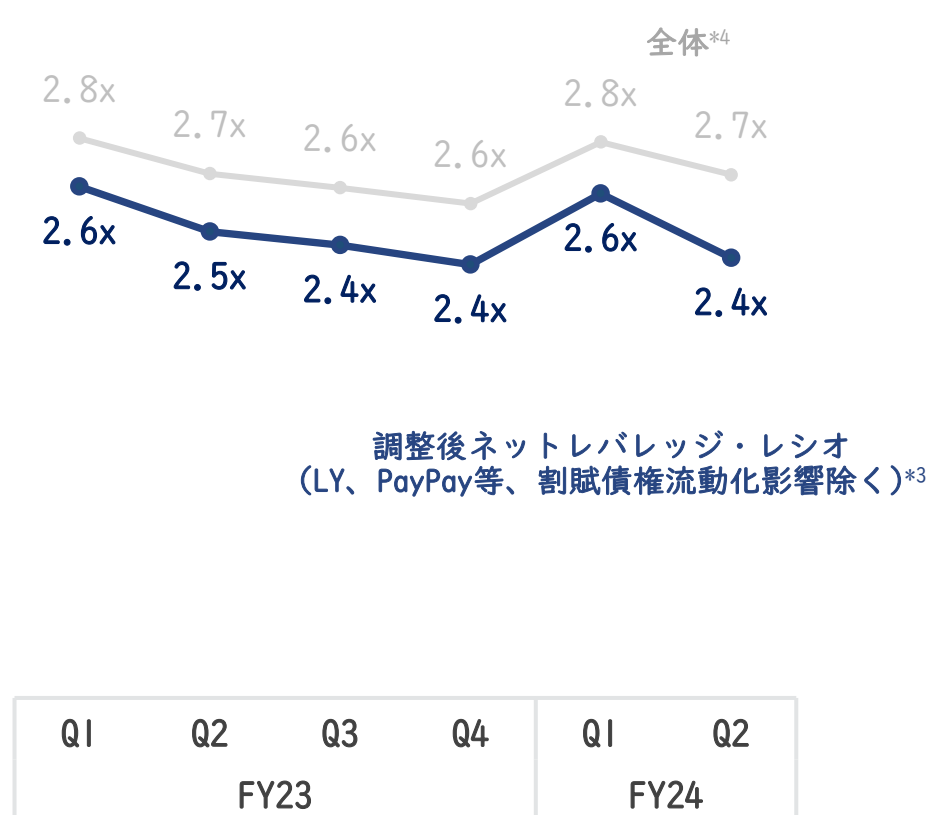
(P21参照)

純有利子負債は前年同期と同水準 (WWJ連結によるリース負債増1,000億円を吸収し横ばい) EBITDAの成長によりネットレバレッジ・レシオは前年同期比で低下

有利子負債・純有利子負債
(兆円)



ネットレバレッジ・レシオ
(倍)



* 有利子負債(LY、PayPay等除く)の内訳はデータシートP4参照 *1: 純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金 *2: 「LY、PayPay等、割賦債権流動化影響除く」は、AHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)等に係る純有利子負債と調整後EBITDA、割賦債権流動化に係る有利子負債および債権流動化現金準備金を除く *3: FY23 Q2より定義を変更し、「LY、PayPay等」にPayPay証券(株)などを加えたことに伴い、FY23 Q1数値を遡及修正 *4: ネットレバレッジ・レシオ = 純有利子負債 ÷ 調整後EBITDA(該当四半期の直近12ヶ月)

純利益の積み上げにより自己資本比率が1%増加

(億円)	24年3月末	24年9月末	増減
現金及び現金同等物	19,929	16,606	-3,323
その他資産	135,290	138,088	+2,797
資産合計 (総資産)	155,219	154,694	-525
有利子負債	63,209	62,632	-577
その他負債	52,654	52,197	-457
負債合計	115,863	114,829	-1,033
親会社の所有者に帰属する持分(自己資本)	23,771	25,196	+1,425
非支配持分	15,586	14,669	-917
資本合計 (純資産)	39,356	39,865	+508
純有利子負債*1	42,830	45,574	+2,744
自己資本比率*2	15.3%	16.3%	+1.0%
純資産比率 総資産に対する資本の割合	25.4%	25.8%	+0.4%

- | | |
|-----|----------------|
| 総資産 | 15.5兆円(-525億円) |
| 純資産 | 4.0兆円(+508億円) |
- | | |
|----------------|----------|
| 親会社の所有者に帰属する持分 | |
| 純利益 | +3,239億円 |
| 剰余金の配当 | -2,037億円 |
| その他 | +224億円 |
| 計 | +1,425億円 |
- | | |
|--------|----------|
| 純有利子負債 | +2,744億円 |
|--------|----------|

PayPayのワーキングキャピタル
やWWJ事業承継による
リース負債の増加等

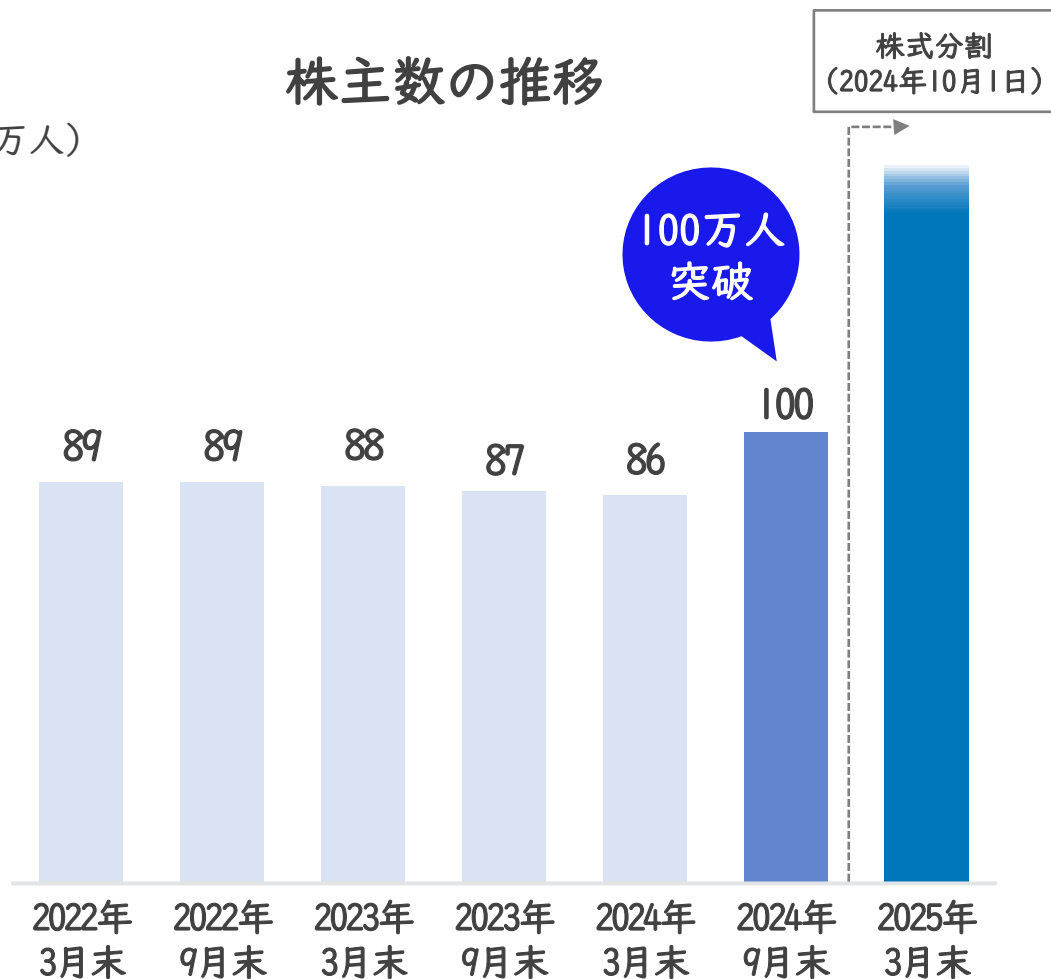
*1：純有利子負債 = 有利子負債 - 現金及び現金同等物 - 債権流動化現金準備金

*2：自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 総資産

- ①10月1日に株式分割(10分割)、9月末時点で40代以下の若年層株主割合27%⇒34%*1に増加
- ②中長期の戦略投資に向けて第2回社債型種類株式を発行

株主数の推移

(万人)



第2回社債型種類株式

発行価格 総額	2,000億円
固定配当 年率*2	3.200%*3
上場日	2024年10月4日 (東証プライム市場)
資金使途	中長期的な企業価値の向上に資する 成長投資 (生成AIを用いたサービスの実現、次世代社会 インフラの構築等)

*1:一部証券会社からの提供データを基に当社推計 *2:発行価格8,000円。2025年3月31日を基準日とする第2回社債型種類株式優先配当金の額は、126.24円(1年を365日とする日割計算) *3:2030年3月31日以前に終了する各事業年度に基準日が属する場合は3.200%、2030年4月1日以降、2050年3月31日以前に終了する各事業年度に基準日が属する場合は、各基準日が属する事業年度につき、その直前事業年度の末日の2営業日前の日(以下「年率基準日」)における1年国債金利に2.960%を加えた率、2050年4月1日以降に終了する各事業年度に基準日が属する場合は、各基準日が属する事業年度につき、その年率基準日における1年国債金利に3.710%を加えた率とします 21

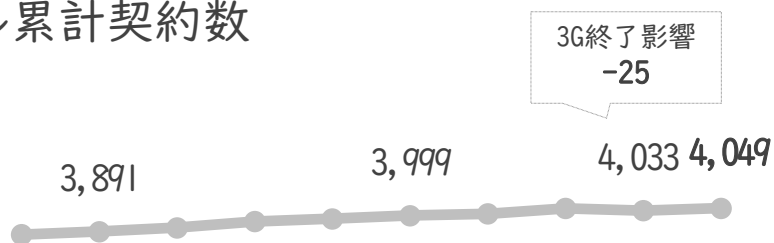
スマホ契約数は順調に増加

市場全体の流動性の高まりを受け、スマホの解約率は前年同期比+0.17%

モバイル累計契約数

(万件)

主要回線*1



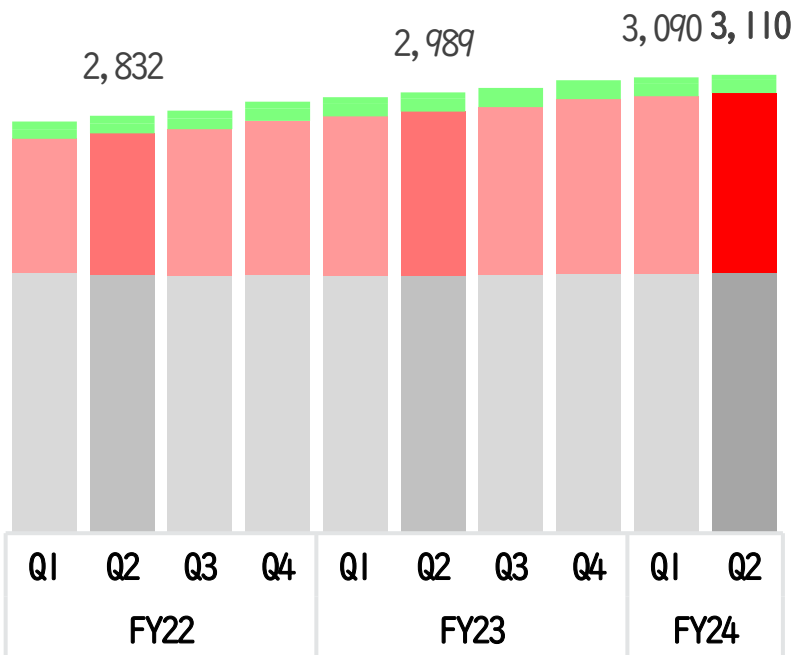
3G終了影響
-25

スマホ

LINEMO/
LINEモバイル*2

Y!mobile

SoftBank



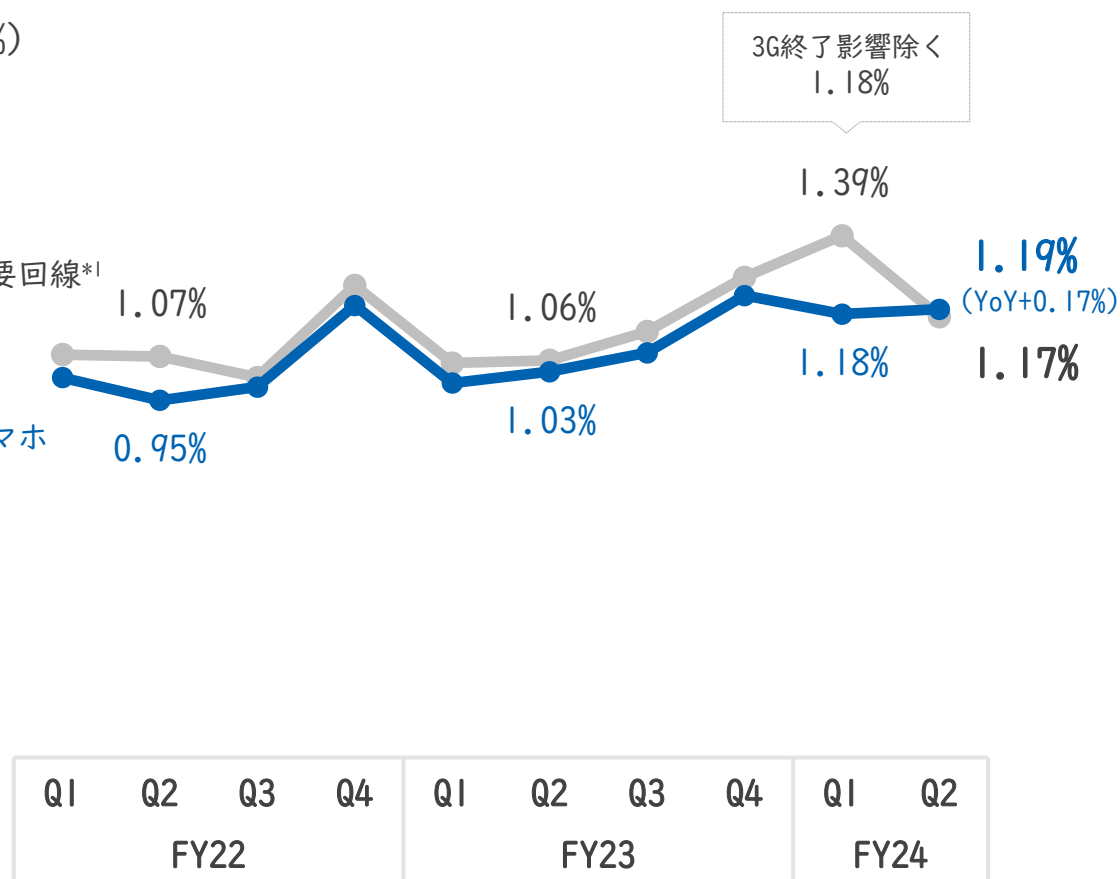
YoY
+120
+4.0%

解約率

(%)

主要回線*1

スマホ



3G終了影響除く
1.18%

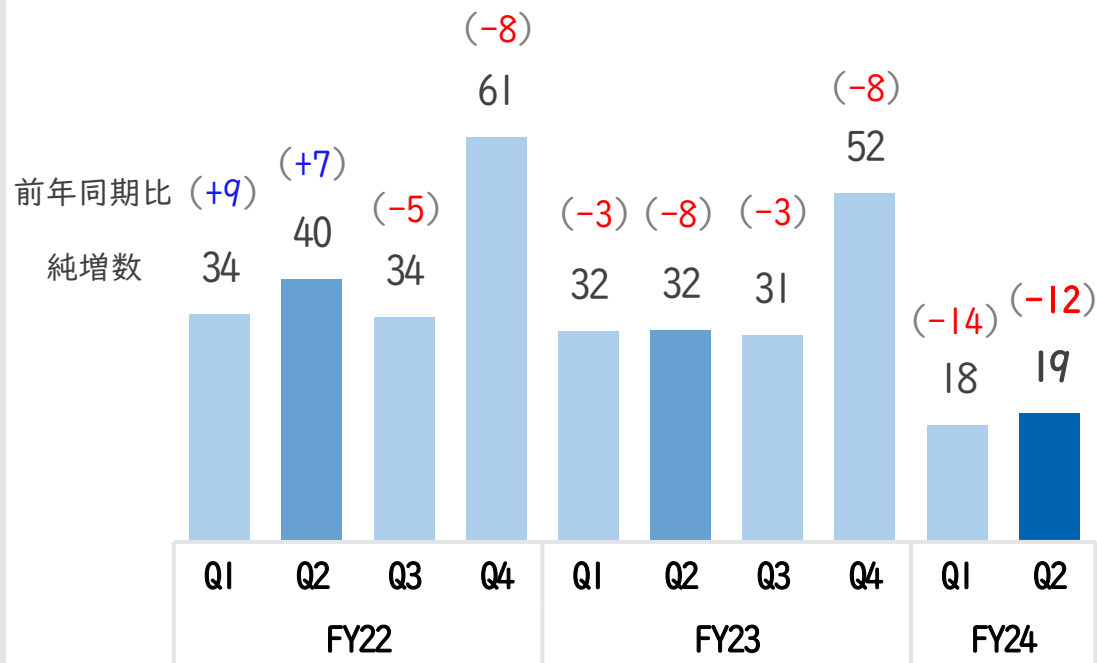
1.19%
(YoY+0.17%)

* 法人契約を含む

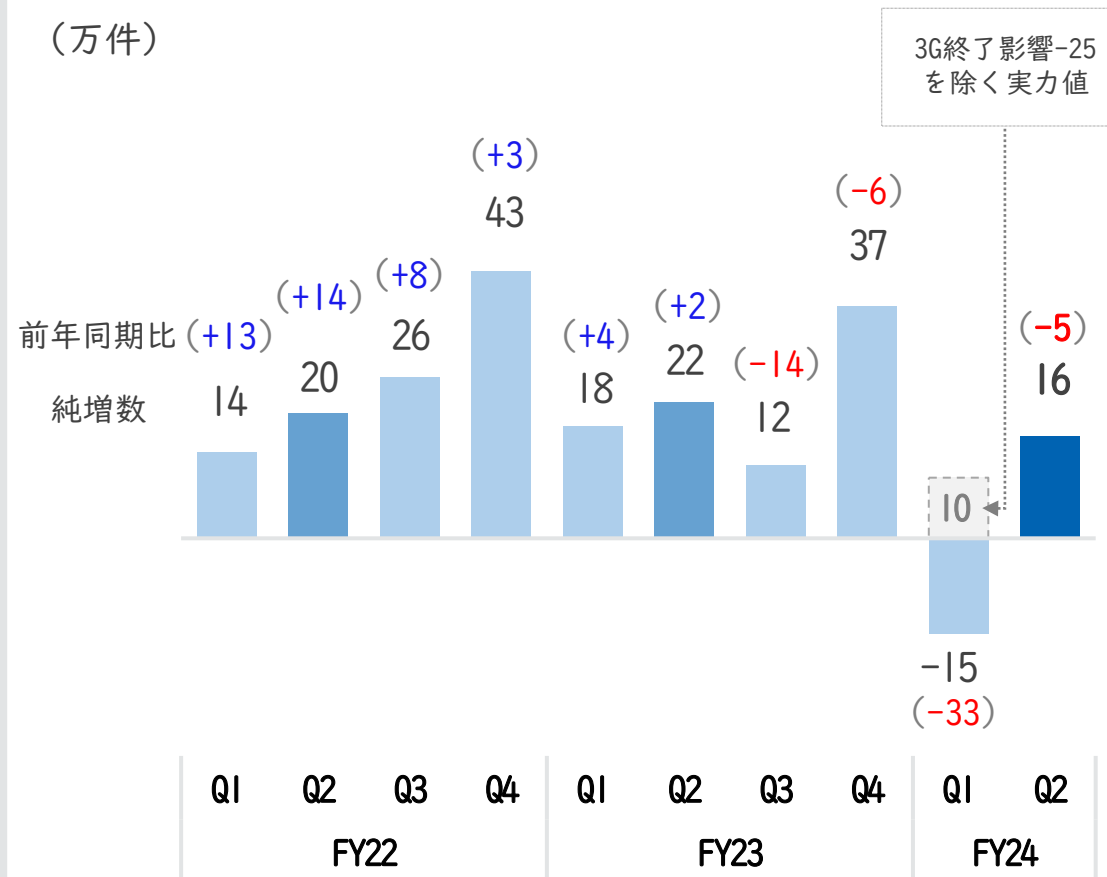
*1: スマートフォン、従来型携帯電話、タブレット、モバイルデータ通信端末、「おうちのでんわ」等 *2: 「LINEMO」と「LINEモバイル」の契約数を合算表示

スマホは年間100万件を上回るペースで進捗

スマホ 純増数*1 対前四半期末
(万件)



主要回線 純増数*1 対前四半期末
(万件)

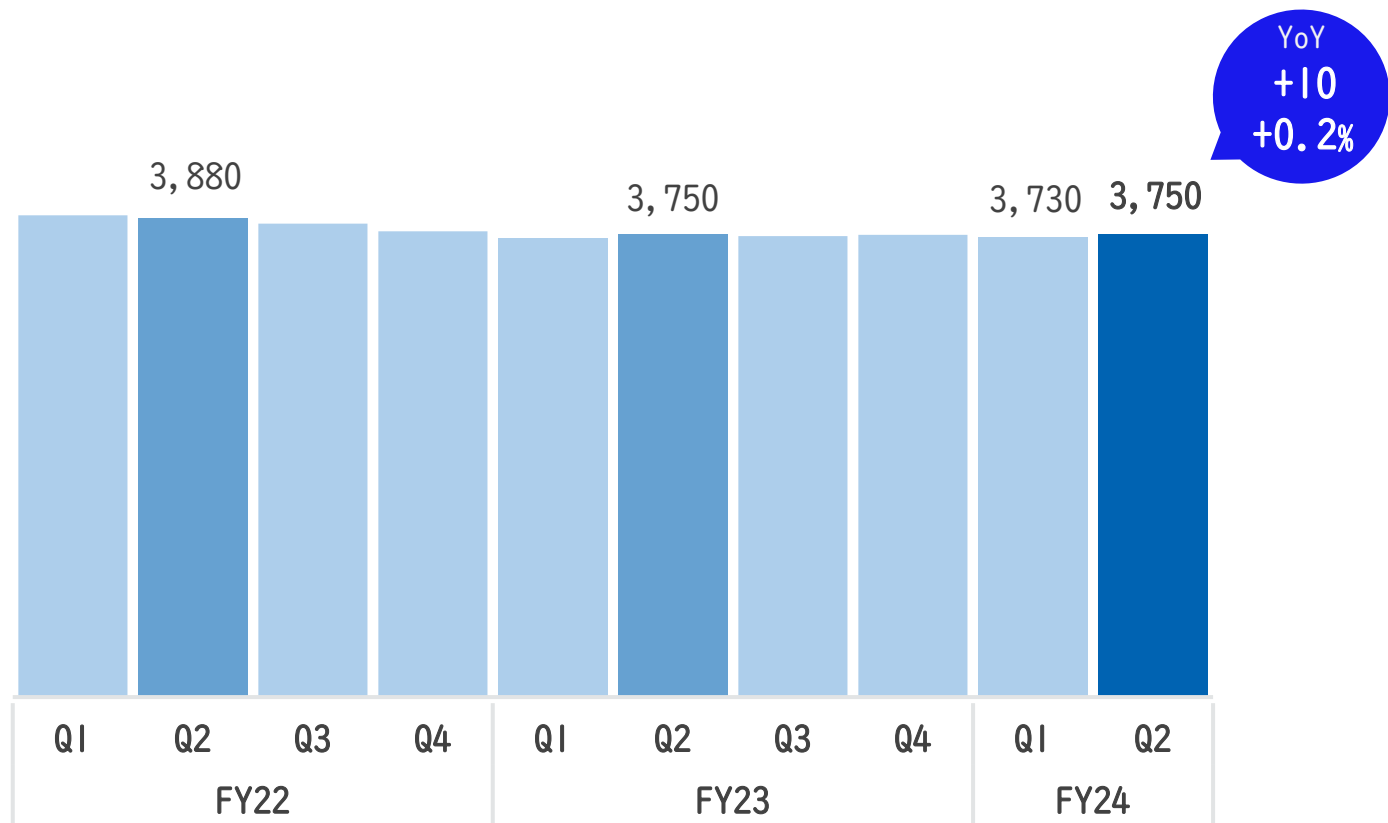


* 法人契約を含む

*1: 純増数 = 該当四半期末の累計契約数 - 前四半期末の累計契約数

ARPUは前年同期比プラスを継続、横ばいで推移

モバイルARPU*
(円)



- モバイルARPU YoY +10円
 (+) 新プラン導入に伴う単価増
 付加価値サービスの拡大
 (-) 「ワイモバイル」構成比増

モバイルARPU YoY増減推移 (円)					
年度	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
FY23	-190	-140	-100	-40	-120
FY24	+10	+10	—	—	0 (見通し)

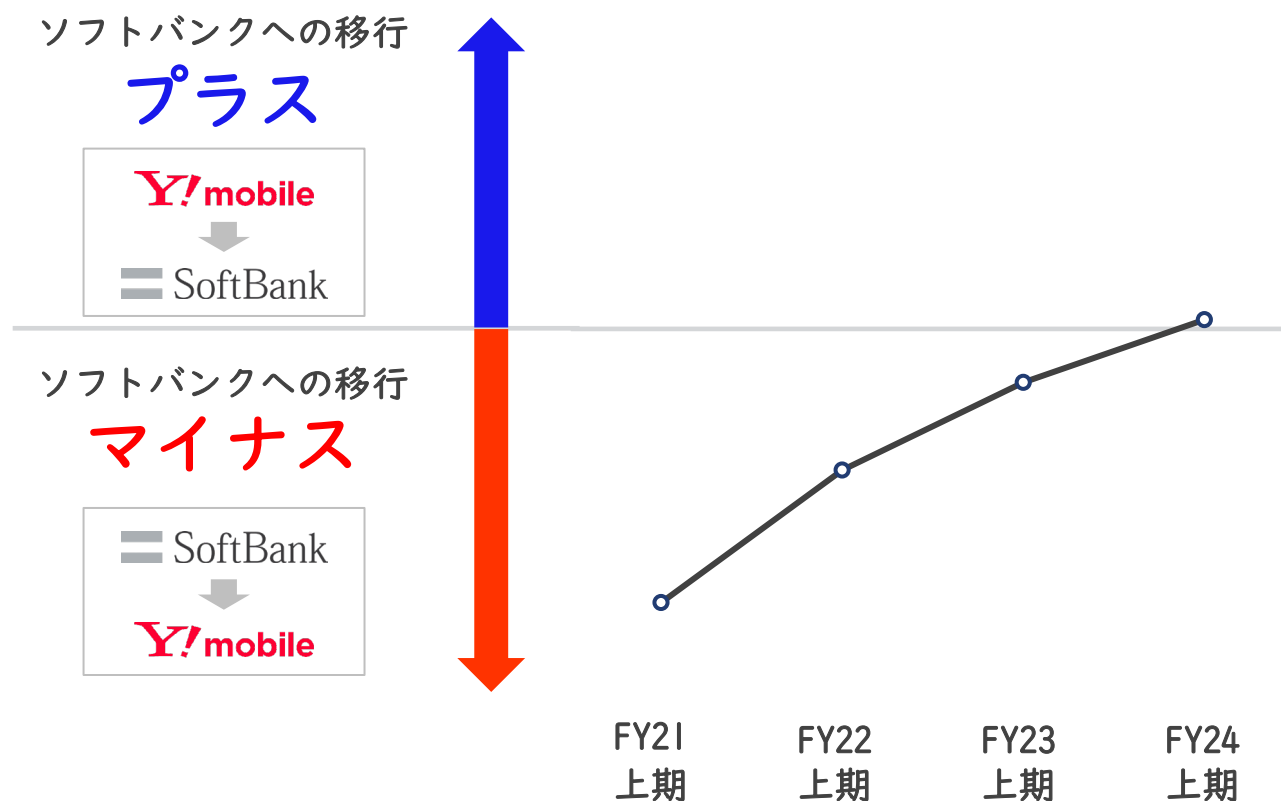
* 法人契約を含む *I：モバイルARPU(Average Revenue Per User) = I契約当たりの月間平均収入(10円未満を四捨五入して開示)。ポイント等や端末購入サポートプログラムに係る通信サービス売上控除額はモバイルARPUに不算入

「ソフトバンク」への移行収支が上期で初のプラスに転換

(2021年春の通信料値下げ以降)

「ソフトバンク」への移行収支*1

(件)



移行収支のプラス要因

- 2021年春の料金値下げに伴う「ソフトバンク」から「ワイモバイル」への移行が収束
- データ利用量増加に伴う無制限プランへの移行の増加

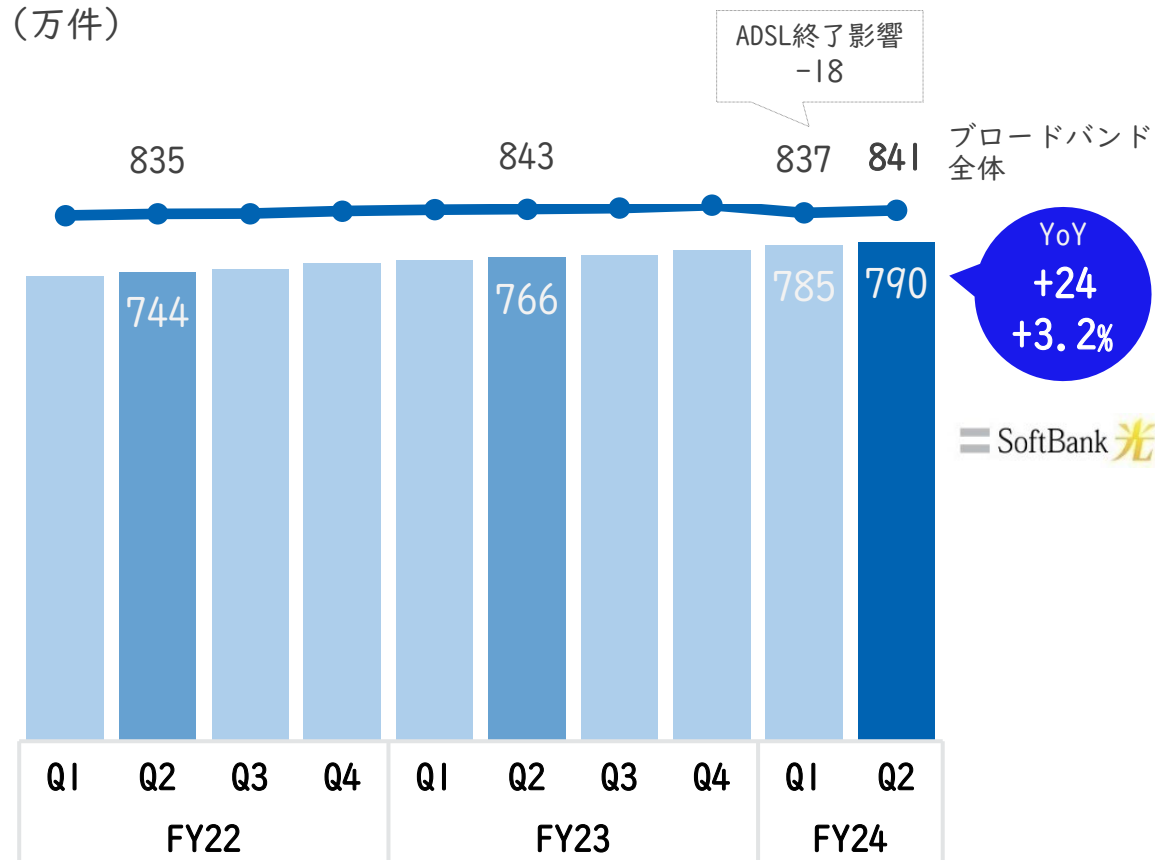
* 「ワイモバイル」には「LINEモバイル」と「LINEMO」を含む *1: 「ワイモバイル」、「LINEモバイル」、「LINEMO」から「ソフトバンク」へ移行したユーザー数から、「ソフトバンク」から「ワイモバイル」、「LINEモバイル」、「LINEMO」へ移行したユーザー数を引いて算出。法人契約を除く

ブロードバンド：ソフトバンク光の契約数は引き続き拡大

でんき：契約数は対前年同期で減少。11月より関東圏での獲得を本格化

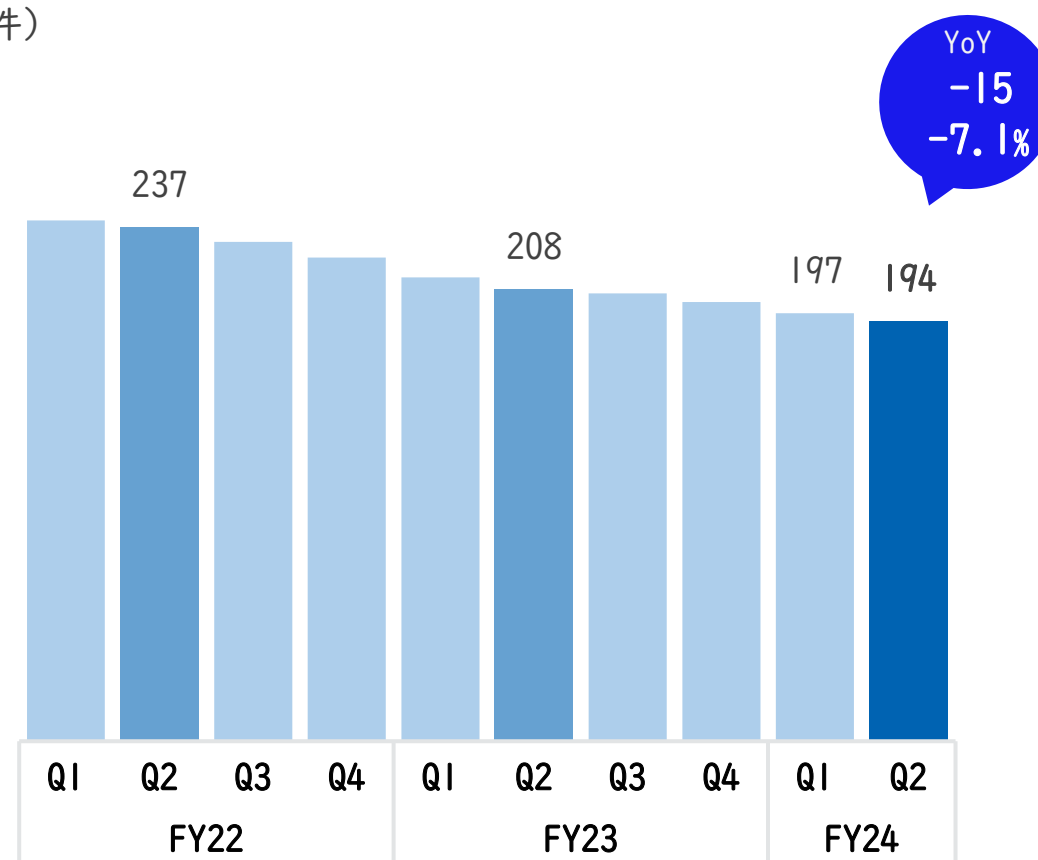
ブロードバンド累計契約数(開通)

(万件)



でんき累計契約数*

(万件)

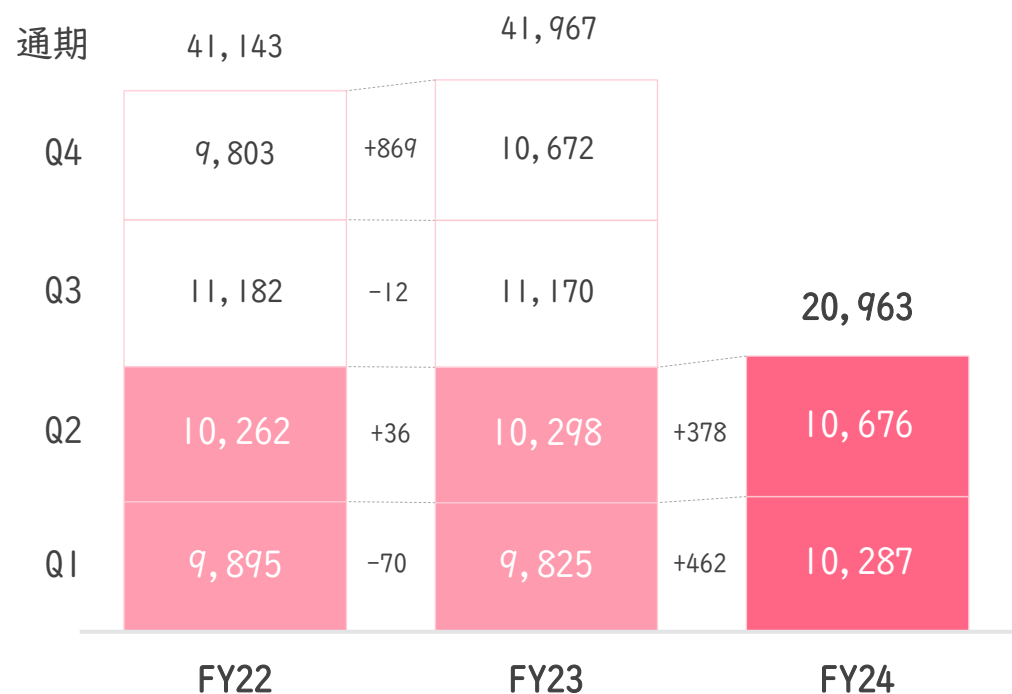


*1：でんきは、「おうちでんき」等の電力の売買・供給および売買の仲介サービス

eコマース取扱高と広告関連売上ともに順調に拡大

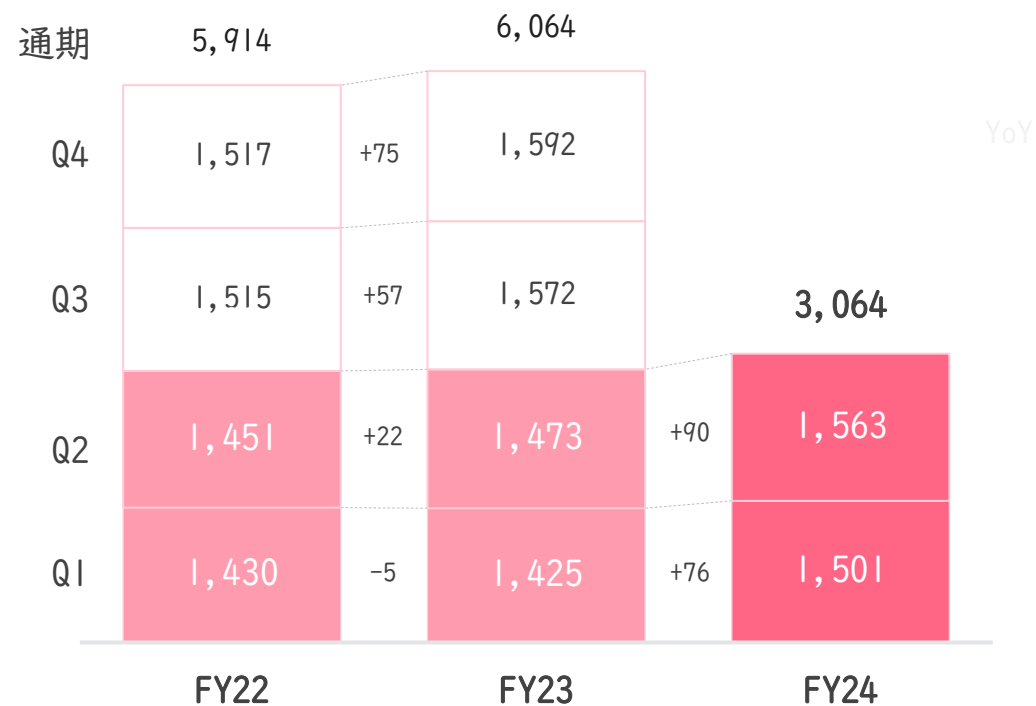
eコマース取扱高*1,2

(億円)



全社広告関連売上収益*2,3

(億円)



*1：国内のショッピング事業取扱高、リユース事業取扱高、その他(物販)取扱高、アスクルBtoB事業取扱高、国内サービス系取扱高、国内デジタル系取扱高および海外eコマース取扱高の合計。集計方法の変更等により、FY23 Q3-Q4、FY23 通期、FY24 Q1の数値を遡及修正 *2：値は億円単位で端数を切り捨て *3：LINE広告関連売上収益とヤフー広告関連売上収益の合計

ユーザー数は順調に増加、決済回数はユーザー数の伸びを大きく上回る

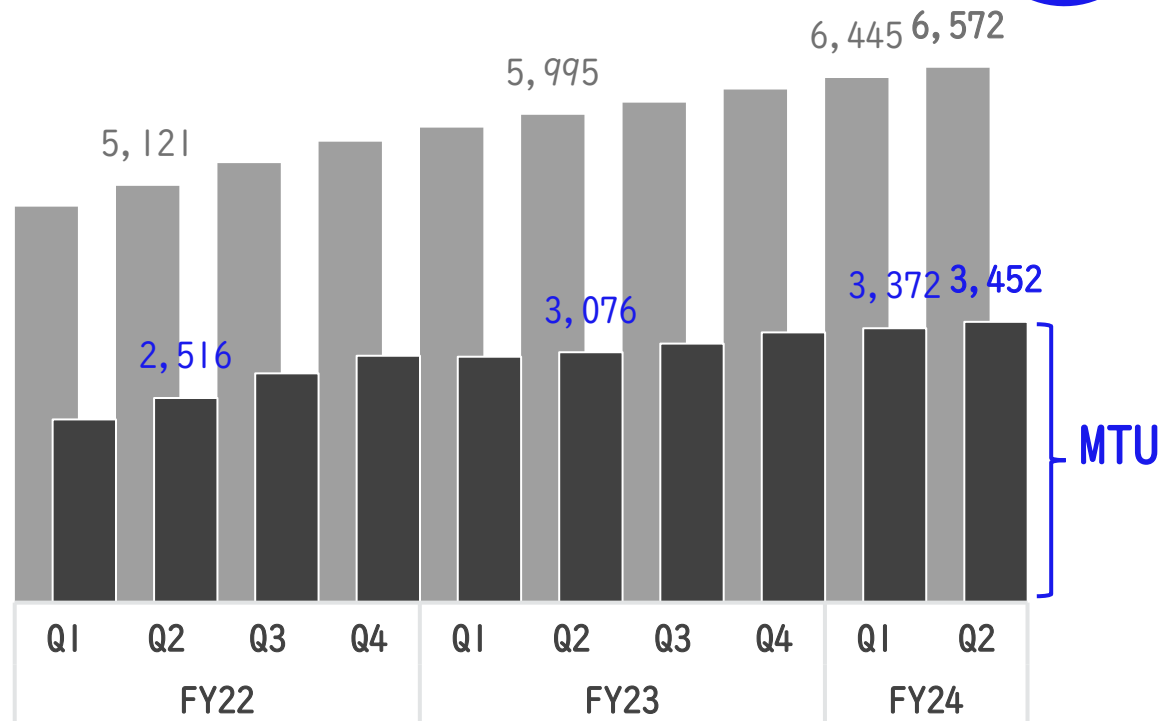
(1人当たり決済回数が増加)

登録ユーザー数*1,3

月間取引ユーザー数(MTU)*2,3
(万人)



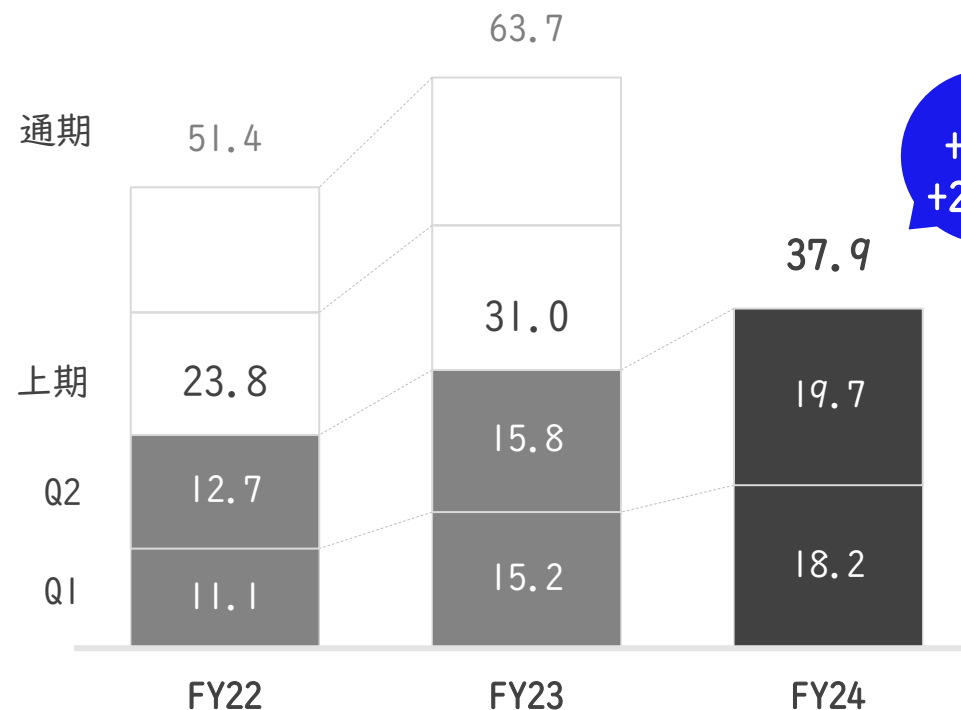
YoY
+577
+9.6%



決済回数*4
(億回)



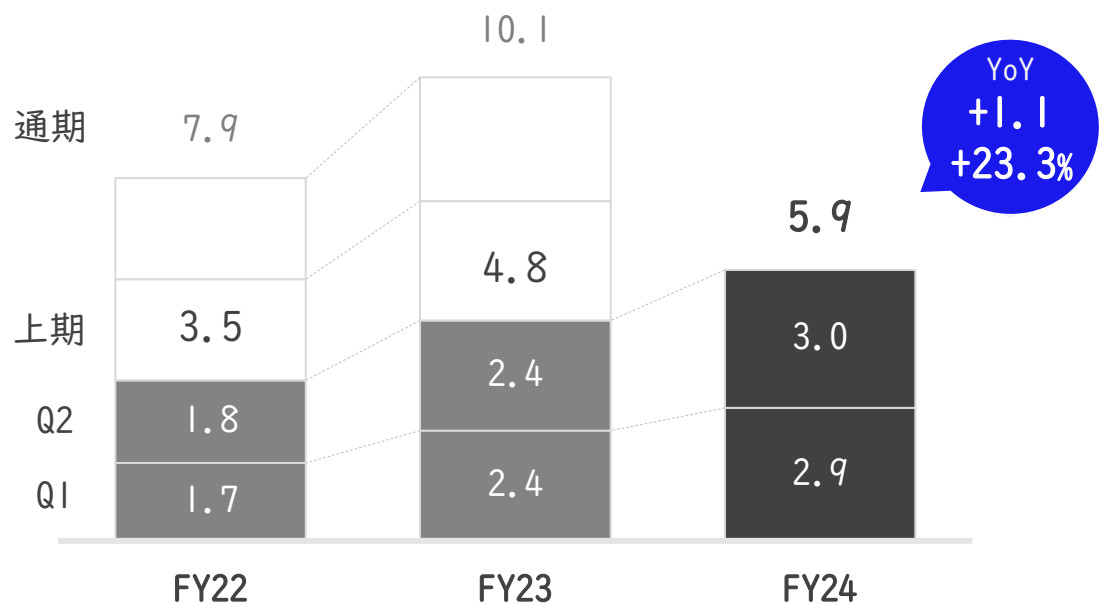
YoY
+6.9
+22.1%



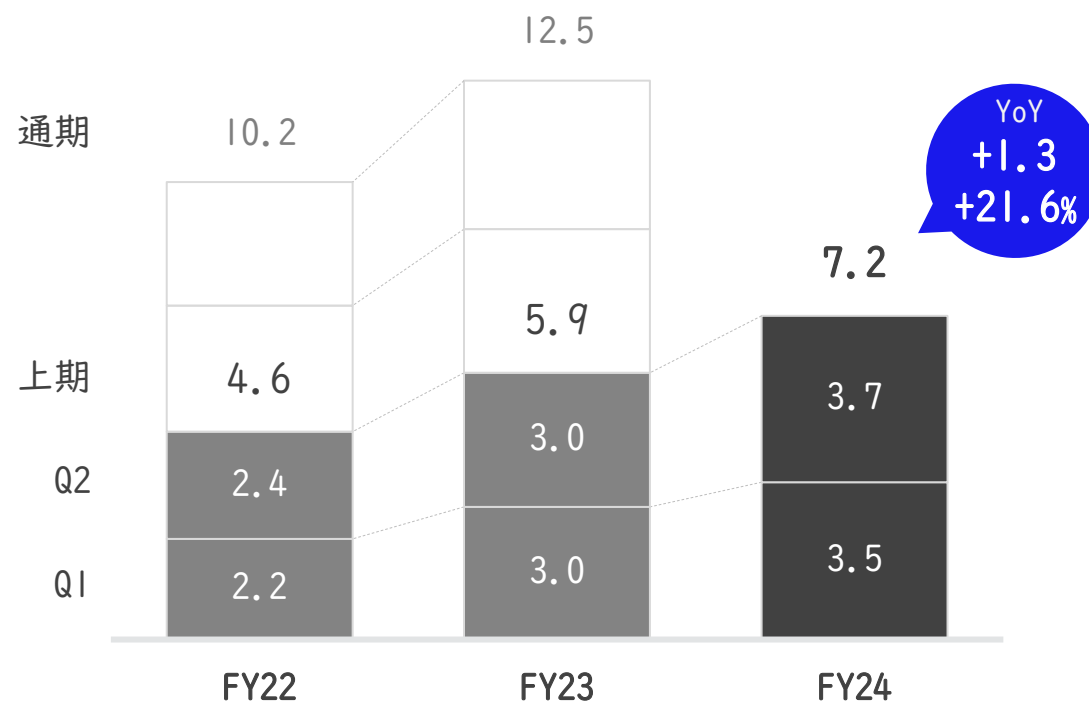
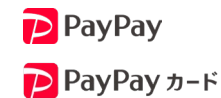
*1：PayPayのアカウント登録済みユーザー数 *2：月間取引ユーザー数MTU (Monthly Transaction Users)は、1ヶ月に1回以上決済を行ったユニークユーザー数。ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済を含む。各四半期末の実績値 *3：万人未満を切り捨て開示 *4：ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済、および「PayPayクレジット(旧あと払い)」による決済を含む

単体のGMVは決済回数を上回る伸び、PayPayカードを含む連結も順調に拡大 (決済単価が増加)

PayPay単体決済取扱高(GMV)*1
(兆円)



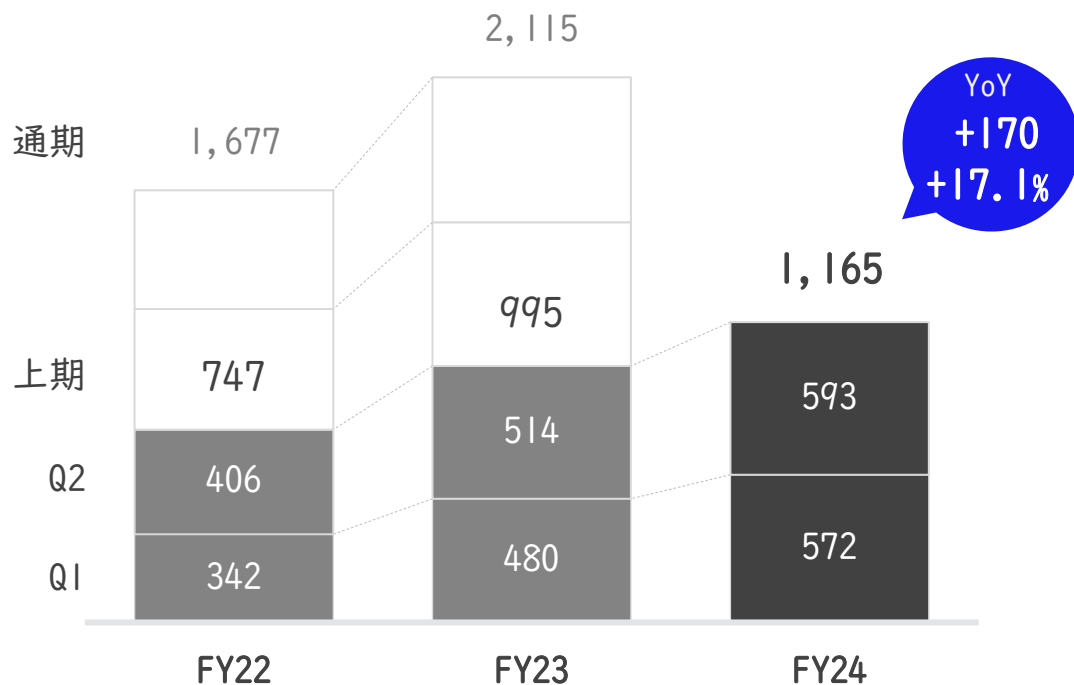
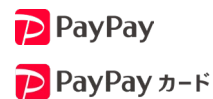
PayPay連結決済取扱高(GMV)*1,2
(兆円)



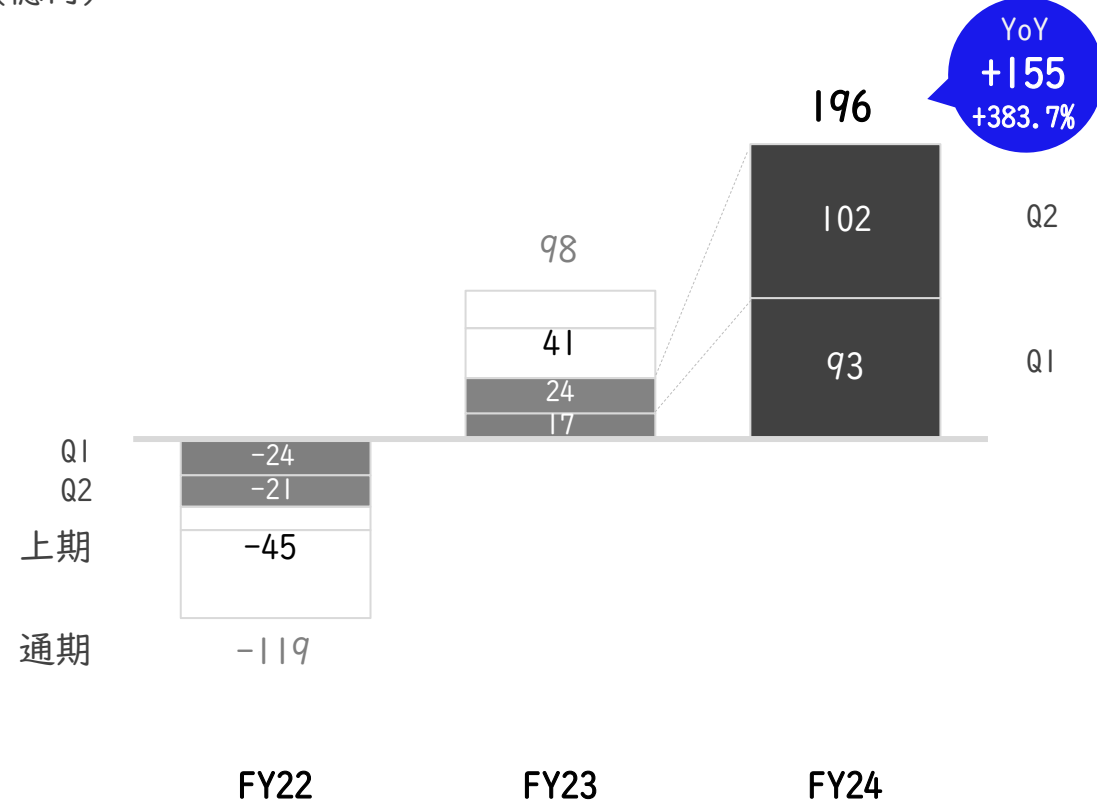
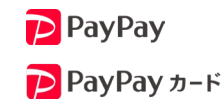
*1：ユーザー間での「PayPay残高」の「送る・受け取る」機能の利用は含まない。「Alipay」、「LINE Pay」等経由の決済、および「PayPayクレジット(旧あと払い)」による決済を含む *2：PayPayカード(株)の決済取扱高をPayPay(株)の決済取扱高と合算し、PayPay(株)とPayPayカード(株)の内部取引を消去

売上高は順調に拡大。EBITDAは大幅に増加、営業利益は2四半期連続黒字

売上高
(億円)



EBITDA
(億円)

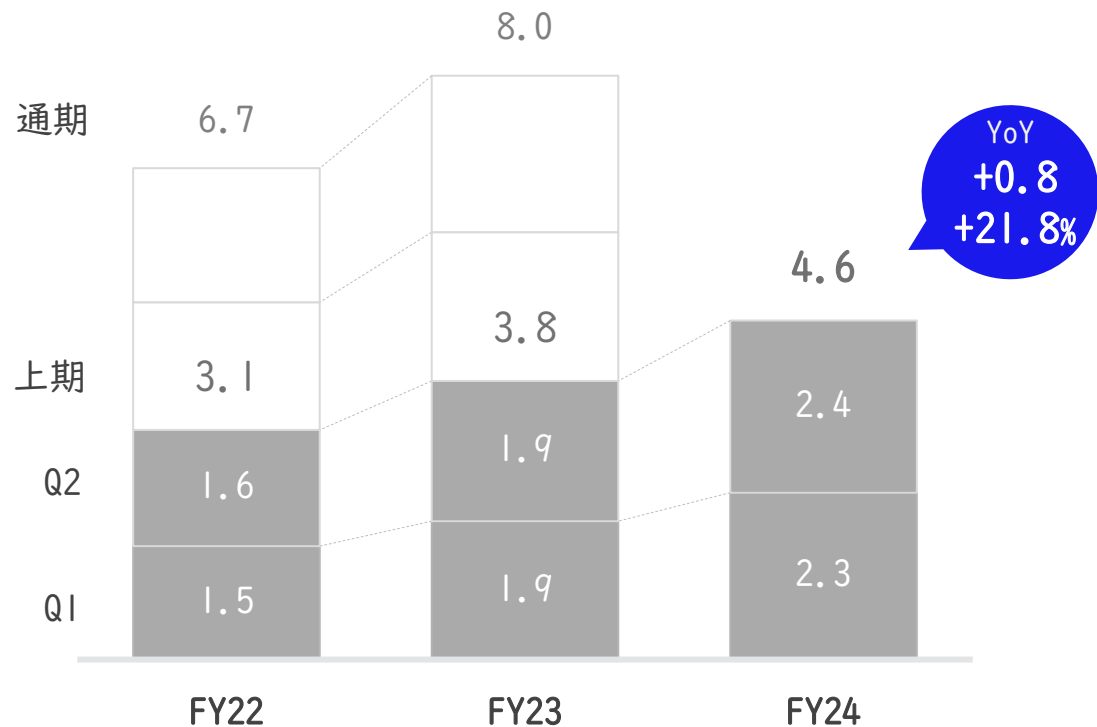


* 持分プーリング法の適用により、PayPayカード(株)の財務諸表をFY21期初からPayPay(株)に連結。IFRS、非監査。
EBITDAは営業利益に減価償却費および固定資産除却損を足して算出

決済取扱高は引き続き2桁成長、非通信が成長をけん引

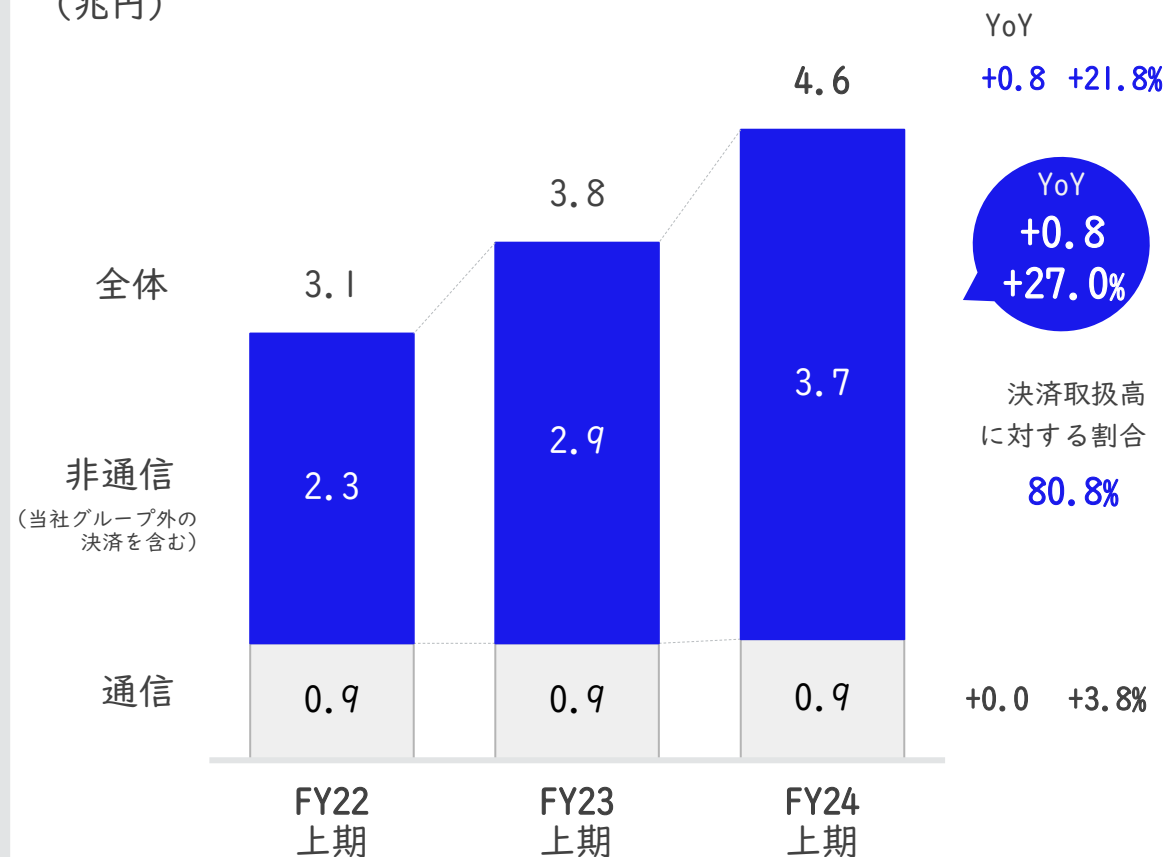
決済取扱高*1

(兆円)



決済取扱高(通信・非通信内訳)*1

(兆円)



*1：一部の取引における取引高の集計漏れがあり、FY22 Q1以降の決済取扱高および非通信領域における決済取扱高を遡及修正

- 災害時にソフトバンクのモバイル通信サービスと無料Wi-Fiサービスを同時に提供する避難所向けシステムを全国に配備
～24年9月～
- 「統合報告書 2024」発行 ～24年9月～
 - ・ 経営体制やガバナンスについて、堀場社外取締役のインタビュー動画を公開
 - ・ サステナビリティレポート2024を掲載

2024年度 通期予想 上方修正

売上高を1,500億円、営業利益を500億円上方修正

(億円)

	FY24			FY23	
	期初予想	修正後予想	増加額	実績	増加額
売上高	62,000	63,500	+1,500	60,840	+2,660
調整後 EBITDA	16,800	17,150	+350	16,677	+473
営業利益	9,000	9,500	+500	8,761	+739
純利益	5,000	5,100	+100	4,891	+209

上方修正要因

- 売上はディストリビューションがけん引。コンシューマ、エンタープライズも貢献
- 調整後EBITDAは主にメディア・EC、ファイナンスの好調
- 営業利益は35ページ参照
- 純利益は営業利益の上方修正等

メディア・EC / ファイナンス / 「その他」を引き上げ

(億円)	FY24			FY23	
	期初予想	修正後予想	増加額	実績	増加額
コンシューマ	5,300	5,300	-	4,952 ^{*2}	+348
エンタープライズ	1,700	1,700	-	1,668 ^{*2}	+32
ディストリビューション	280	280	-	262	+18
メディア・EC	2,300	2,500	+200	1,980	+521
ファイナンス	30	200	+170	-50	+250
その他 ^{*1}	-610	-480	+130	-52 ^{*2}	-428
合計	9,000	9,500	+500	8,761	+739

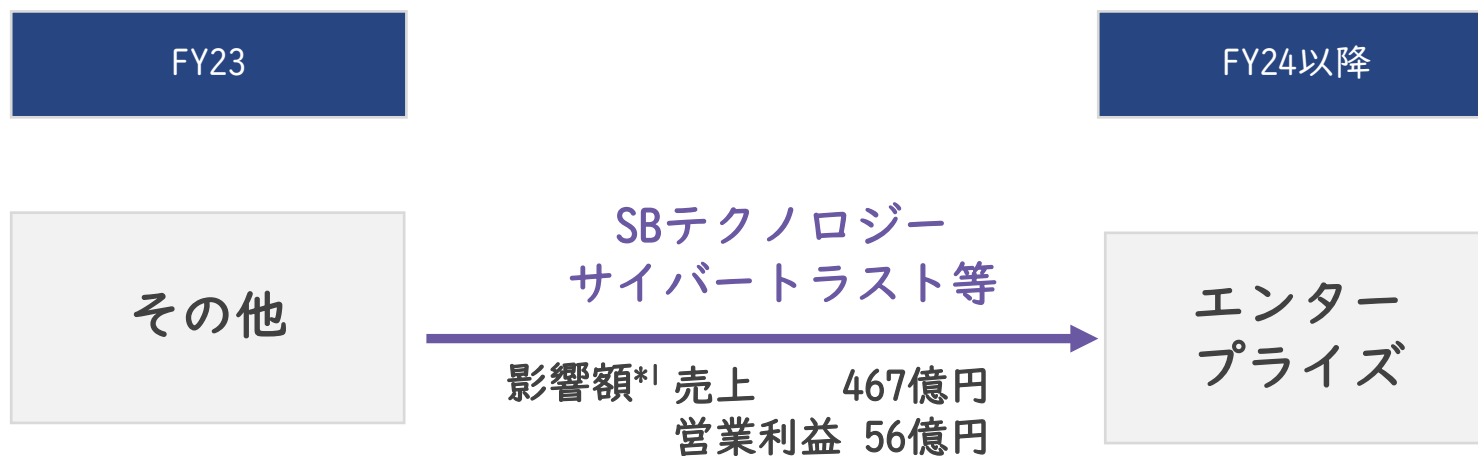
上方修正要因

- メディア・ECはメディア領域の好調や評価益の計上等 (P12参照)
- ファイナンスはPayPay連結の好調 (P13参照)
- その他はリスク要因の縮小等

*1: 「その他」はセグメント間調整額を含む *2: FY24より、「コンシューマ事業」に区分されていた一部の子会社を「その他」に、「その他」に区分されていたSBテクノロジー(株)およびサイバートラスト(株)等を「エンタープライズ事業」に移管。これらに伴い、「コンシューマ事業」「エンタープライズ事業」「その他」のFY23の数値を遡及修正

APPENDIX

SBテクノロジーとその子会社をエンタープライズに移管



- SBテクノロジーをTOBにより完全子会社化、エンジニアリソースと高い技術力を結集し、エンタープライズ事業の成長加速を目指す

その他の遡及修正事項

- 子会社の事業区分を見直し、コンシューマ→「その他」へ（売上13億円、営業利益3億円*1）
- エンタープライズ内でIoT商材等をモバイル/固定→ソリューション等へ区分変更（売上約120億円*1）

(億円)	FY23 上期	FY24 上期	増減	主な増減要因
売上高	29,338	31,521	+2,183	
売上原価	-14,665	-15,744	-1,079	
売上総利益	14,672	15,777	+1,104	
販売費及び一般管理費	-9,708	-10,321	-613	
その他の営業収益	195	432	+237	LYで計上した支配喪失益等の一時的要因により増加
その他の営業費用	-16	-29	-13	
営業利益	5,144	5,859	+715	
持分変動利益	203	32	-171	前年のWebtoonに対する持分変動利益の変動に伴う増加の反動
持分法による投資損益（-はマイナス）	-121	-43	+78	
金融収益	92	67	-26	
金融費用	-361	-702	-341	持分法会社のプットオプション評価損等により増加
持分法による投資の売却損益	52	44	-8	
税引前利益	5,010	5,256	+247	
法人所得税	-1,282	-1,319	-37	
純利益	3,728	3,938	+210	
純利益の帰属				
親会社の所有者	3,021	3,239	+217	
非支配持分	707	699	-7	

（億円）	24年3月末	24年9月末	増減	主な増減要因
資産合計	155,219	154,694	-525	
流動資産合計	52,680	48,274	-4,406	
現金及び現金同等物	19,929	16,606	-3,323	営業債務支払いやPayPayカード(株)における負債圧縮等により減少
営業債権及びその他の債権	26,610	25,697	-913	主にソフトバンクにおける通信債権および割賦債権の減少
その他の金融資産	2,297	2,487	+190	
棚卸資産	1,551	1,911	+360	
その他の流動資産	1,868	1,574	-295	
売買目的保有に分類された資産	426	-	-426	
非流動資産合計	102,539	106,420	+3,881	
有形固定資産	17,688	18,377	+689	
使用権資産	6,622	7,553	+931	主にWWJ事業承継による増加
のれん	20,494	20,567	+73	
無形資産	25,055	24,717	-338	
契約コスト	3,191	3,358	+167	
持分法で会計処理されている投資	2,515	2,899	+384	主にLYグループ傘下において子会社から持分法適用会社への異動が発生したことによる増加(IPX, LINE NEXT等)
投資有価証券	2,728	2,756	+28	
銀行事業の有価証券	5,222	6,282	+1,060	PayPay銀行(株)における投資有価証券の増加
その他の金融資産	17,556	18,395	+839	主に長期割賦債権の増加
繰延税金資産	465	510	+44	
その他の非流動資産	1,002	1,006	+4	

(億円)	24年3月末	24年9月末	増減	主な増減要因
負債合計	115,863	114,829	-1,033	
流動負債合計	70,853	65,220	-5,633	
有利子負債	23,816	19,093	-4,723	主にPayPayカード(株)の借入金減少
営業債務及びその他の債務	25,351	23,971	-1,380	ソフトバンクやPayPay(株)における未払金の減少
契約負債	1,283	1,385	+102	
銀行事業の預金	16,432	17,179	+748	PayPay銀行(株)における定期預金、普通預金の増加
その他の金融負債	17	123	+105	
未払法人所得税	1,259	1,119	-140	
引当金	333	405	+72	
その他の流動負債	2,266	1,945	-321	
売買目的保有に分類された資産に直接関連する負債	96	-	-96	
非流動負債合計	45,010	49,609	+4,599	
有利子負債	39,393	43,539	+4,146	短期に合わせて記載
その他の金融負債	453	455	+2	
引当金	995	1,180	+185	
繰延税金負債	3,019	3,240	+221	
その他の非流動負債	1,151	1,195	+45	

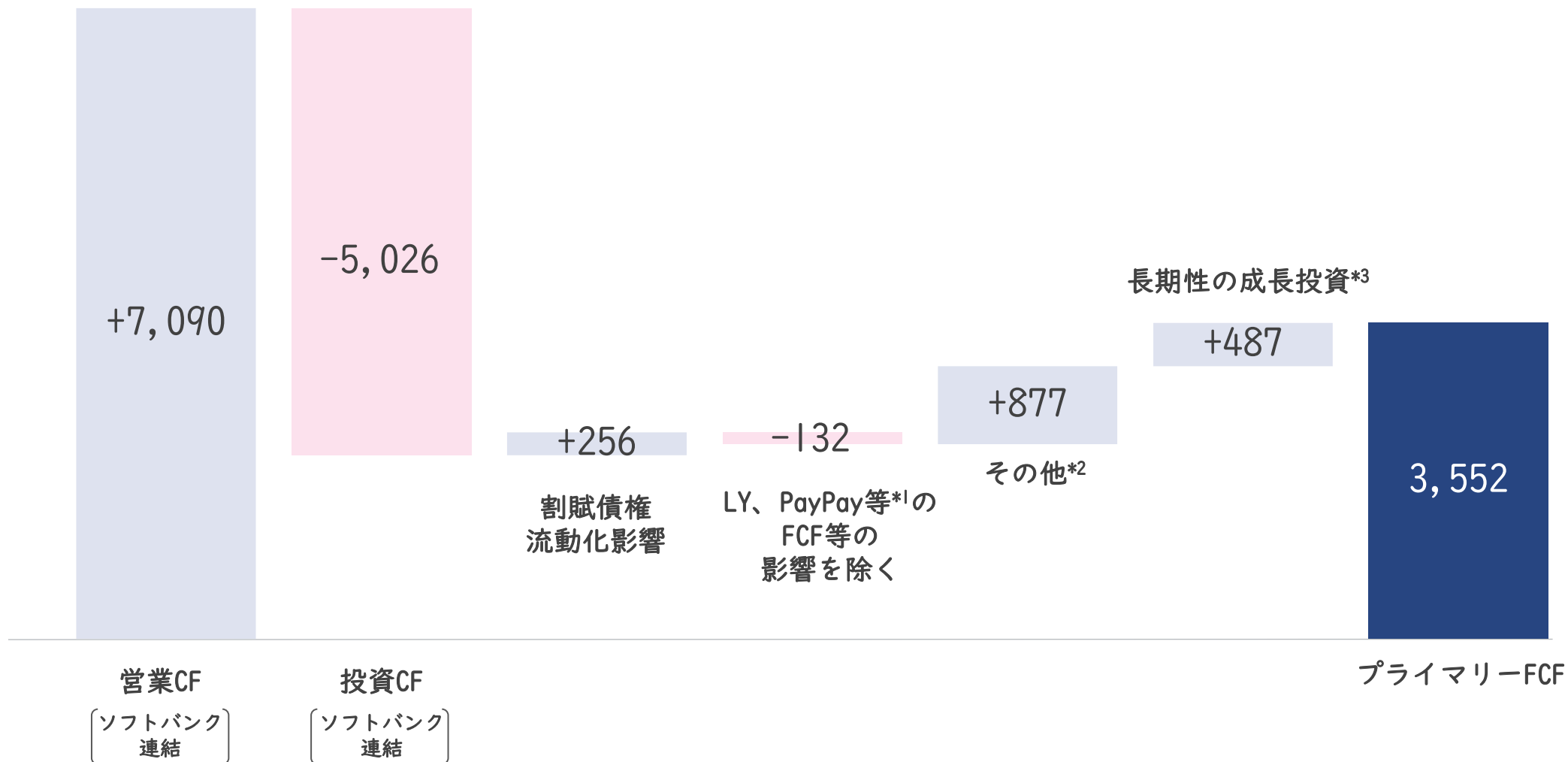
(億円)	24年3月末	24年9月末	増減	主な増減要因
資本合計(純資産)	39,356	39,865	+508	
親会社の所有者に帰属する持分	23,771	25,196	+1,425	
資本金	2,144	2,229	+85	
資本剰余金	7,361	7,351	-10	
利益剰余金	14,758	15,963	+1,205	ソフトバンクの配当支払い-2,037億円、純利益+3,239億円
自己株式	-758	-492	+266	
その他の包括利益累計額	267	145	-122	
非支配持分	15,586	14,669	-917	

自己資本比率 ^{*1}	15.3%	16.3%	+1.0%	
純資産比率（総資産に対する資本の割合）	25.4%	25.8%	+0.4%	

*1：自己資本比率 = 親会社の所有者に帰属する持分 ÷ 総資産

(億円)	FY23上期	FY24上期	主な増減要因
営業活動によるCF	5,870	7,090	
純利益	3,728	3,938	
減価償却費	3,717	3,673	
ワーキング・キャピタル増減	-836	-1,324	
利息支払額	-298	-403	
法人所得税の支払額・還付額	-1,180	-794	
その他	739	2,000	PayPay銀行(株)における全銀担保の差戻し
投資活動によるCF	-5,022	-5,026	
有形固定資産及び無形資産の取得による支出・収入	-3,172	-3,468	
投資の取得による支出・投資の売却または償還による収入	-450	-265	
子会社の支配獲得による収支	-	60	
子会社の支配喪失による収支	-67	-221	
その他	-1,333	-1,131	
財務活動によるCF	-1,413	-5,668	
有利子負債の収入	9,983	10,153	
有利子負債の支出	-11,756	-11,824	
短期有利子負債の純増減	2,698	-749	
株式の発行による収入	66	162	
配当金の支払額	-2,033	-2,036	
非支配持分への配当金の支払額	-232	-1,161	LY自己株式TOBに伴う売却代金のNAVERへの支払いによる増加
その他	-139	-213	
現金及び現金同等物に係る換算差額	87	-49	
売却目的保有に分類された資産への振替に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	330	
現金及び現金同等物の期首残高	20,592	19,929	
現金及び現金同等物の期末残高	20,113	16,606	
調整後FCF(LY、PayPay等除く)	2,504	3,065	
プライマリーFCF	2,504	3,552	

(億円)



*1: 「LY、PayPay等」はAHD、LYグループ、BHD、PayPay(株)、PayPayカード(株)、PayPay証券(株)等を指す

*2: AHDからの受取配当 (FY24Q2に同社が実施したLY株式の売却に伴う、当社への当該手取金の配当等)、PayPay証券(株)への出資等を含む *3: AI計算基盤の投資を含む

		(億円)	24年3月末	24年9月末	増減
PayPay連結*1	BS	資産合計（総資産）	19,002	17,121	-1,881
		現金・預金	5,808	3,368	-2,439
		その他資産	13,195	13,753	+558
		負債合計	18,466	16,445	-2,021
		有利子負債*2	6,762	5,180	-1,582
		その他負債*2	11,704	11,266	-439
		資本合計（純資産）	536	675	+139
		(億円)	FY23 上期	FY24 上期	増減
PL	売上高		995	1,165	+170
	EBITDA		41	196	+155

		(億円)	24年3月末	24年9月末	増減
SBペイメント サービス(株)*3	BS	資産合計（総資産）	2,550	2,395	-155
		現金及び現金同等物	126	120	-6
		営業債権及びその他の債権	861	818	-44
		その他資産	1,563	1,458	-105
		負債合計	2,145	1,947	-198
		営業債務及びその他の債務	2,090	1,898	-192
		その他負債	55	48	-6
資本合計（純資産）	405	448	+43		
		(億円)	FY23 上期	FY24 上期	増減
PL	売上高		122	136	+14
	営業利益		56	61	+5

*1 PayPay連結財務諸表、IFRS、非監査 *2 24年3月末の数値は、2024年5月9日に公表した2024年3月期 投資家向け説明会資料の集計誤りをFY24 Q1より訂正

*3 単体財務諸表、日本基準。24年3月末の数値は監査済み、24年9月末の数値は監査未了

2024年9月末時点の関係会社：298社（うち子会社 226社、関連会社*1 72社）

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
コンシューマ	Wireless City Planning(株)	31.8%	電気通信事業（経済的持分比率：99.5%）
	SBモバイルサービス(株)	100.0%	コールセンター事業
	SBパワー(株)	100.0%	電力の売買業務および売買の仲介業務
エンタープライズ	SBエンジニアリング(株)	100.0%	電気通信に関わる構築、運用等
	(株)IDCフロンティア	100.0%	データセンター事業
	(株)イーエムネットジャパン	41.2% *3	インターネット広告事業
	Cubic Telecom Ltd.	54.3%	コネクテッドカー・SDCV(Software-Defined Connected Vehicle)向けIoTプラットフォームの提供
	SBテクノロジー(株) *2	100.0% *4	クラウドサービス、セキュリティ運用監視サービス、IoTソリューションの提供
	サイバートラスト(株) *2	57.6% *5	IoT、Linux/OSS、認証・セキュリティサービス
ディストリビューション	SB C&S(株)	100.0%	IT関連製品の流通・販売、IT関連サービスの提供
メディア・EC	LINEヤフー(株)	62.5%	インターネット広告事業、イーコマース事業及び会員サービス事業等の展開並びにグループ会社の経営管理業務等
	(株)ZOZO	51.5% *5	ファッション EC サイトの運営、プライベートブランドの販売、ファッションメディアの運営等
	アスクル(株)	45.3% *6	オフィス関連商品の販売事業、その他の配送事業
	(株)一休	100.0%	高級ホテルや旅館、厳選レストラン等のインターネット予約サイト運営事業
	PayPay銀行(株)	46.6%	銀行業

青：上場企業

*1：関連会社には共同支配企業を含む *2：FY24 Q1より「その他」に区分されていたSBテクノロジー(株)およびサイバートラスト(株)等を「エンタープライズ事業」に移管

*3：2023年12月末時点 *4：2024年9月6日上場廃止 *5：2024年3月末時点 *6：2024年5月20日時点

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
ファイナンス	PayPay(株)	69.8%	モバイルペイメント等電子決済サービスの開発・提供
	PayPayカード(株)	100.0%	クレジット
	SBペイメントサービス(株)	100.0%	決済サービス
	PayPay証券(株)	66.0%	スマートフォン専門の証券業
その他 (子会社)	SBメディアホールディングス(株)	100.0%	アイティメディア等の株式を保有する持株会社
	アイティメディア(株)	53.4% *1	IT総合情報サイト「ITmedia」の運営

青：上場企業

報告セグメント	会社名	議決権所有割合	主な事業内容
関連会社	(株)出前館	36.8% *2	インターネットサイト「出前館」の運営およびそれにかかわる事業
	Webtoon Entertainment Inc.	24.5% *3	モバイルコンテンツサービスの運営

青：上場企業

*1：2024年3月末時点 *2：2023年8月末時点 *3：2024年9月末時点

免責事項

本資料は、日本国内外を問わず一切の投資勧誘又はそれに類する行為のために作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する発行登録目論見書、発行登録追補目論見書(作成された場合)及びそれらの訂正事項分(作成された場合)をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

また、本資料は、米国における証券の募集を構成するものではありません。米国1933年証券法に基づいて証券の登録を行うまたは登録の免除を受ける場合を除き、米国内において証券の募集または販売を行うことはできません。米国における証券の公募が行われる場合には、米国1933年証券法に基づいて作成される英文目論見書が用いられます。当該目論見書は、当該証券の発行会社または売出人より入手することができますが、これには、発行会社およびその経営陣に関する詳細な情報ならびにその財務諸表が記載されます。なお、本資料に言及のある社債型種類株式に関しては米国における証券の公募は行われません。



SoftBank